

第 28 回全国ラージボール卓球大会

- (1) 名 称 第 28 回全国ラージボール卓球大会
(2) 期 日 平成 27 年 6 月 18 日 (木) ~ 21 日 (日)
(3) 会 場 スカイホール豊田 (豊田市総合体育館)
名鉄豊田線「豊田市」駅より徒歩約 15 分
「豊田市」駅から名鉄バス
古瀬間町行き、五ヶ丘ニュータウン行き、中垣内行き「豊田本町」下車 5 分
〒471-0861 愛知県豊田市八幡町 1-20 TEL (0565) 31-0451
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主 管 愛知県卓球協会、豊田市卓球協会
(6) 後 援 愛知県、愛知県教育委員会、(公財)愛知県体育協会、豊田市、豊田市教育委員会、
(公財)豊田市体育協会、スポーツ報知
- (7) 競技種目

イ. シングルス : 各種目 A/B クラスに分けて実施する。但し、**⑧男子 80、⑨男子 85、⑰女子 80、⑱女子 85 の 4 種目については A/B の区別はしない。**

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①一般男子シングルス (年齢制限なし) | ⑩一般女子シングルス (年齢制限なし) |
| ②男子シングルス 40 (40 歳以上) | ⑪女子シングルス 40 (40 歳以上) |
| ③男子シングルス 50 (50 歳以上) | ⑫女子シングルス 50 (50 歳以上) |
| ④男子シングルス 60 (60 歳以上) | ⑬女子シングルス 60 (60 歳以上) |
| ⑤男子シングルス 65 (65 歳以上) | ⑭女子シングルス 65 (65 歳以上) |
| ⑥男子シングルス 70 (70 歳以上) | ⑮女子シングルス 70 (70 歳以上) |
| ⑦男子シングルス 75 (75 歳以上) | ⑯女子シングルス 75 (75 歳以上) |
| ⑧男子シングルス 80 (80 歳以上) | ⑰女子シングルス 80 (80 歳以上) |
| ⑨男子シングルス 85 (85 歳以上) | ⑱女子シングルス 85 (85 歳以上) |

ロ. ダブルス : ダブルスは 2 名の合計年齢とし、各種目 A/B クラスに分けて実施する。但し、**⑦男子ダブルス 150、⑧男子ダブルス 160、⑮女子ダブルス 150、⑯女子ダブルス 160 の種目については A/B の区別はしない。**

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ①一般男子ダブルス (年齢制限なし) | ⑨一般女子ダブルス (年齢制限なし) |
| ②男子ダブルス 80 (合計 80 歳以上) | ⑩女子ダブルス 80 (合計 80 歳以上) |
| ③男子ダブルス 100 (合計 100 歳以上) | ⑪女子ダブルス 100 (合計 100 歳以上) |
| ④男子ダブルス 120 (合計 120 歳以上) | ⑫女子ダブルス 120 (合計 120 歳以上) |
| ⑤男子ダブルス 130 (合計 130 歳以上) | ⑬女子ダブルス 130 (合計 130 歳以上) |
| ⑥男子ダブルス 140 (合計 140 歳以上) | ⑭女子ダブルス 140 (合計 140 歳以上) |
| ⑦男子ダブルス 150 (合計 150 歳以上) | ⑮女子ダブルス 150 (合計 150 歳以上) |
| ⑧男子ダブルス 160 (合計 160 歳以上) | ⑯女子ダブルス 160 (合計 160 歳以上) |

ハ. 混合ダブルス : ダブルスは 2 名の合計年齢とし、①~⑥の種目については A/B クラスに分けて実施する。但し、**⑦混合ダブルス 150 と⑧混合ダブルス 160 の種目については A/B の区別はしない。**

- | |
|--------------------------|
| ①一般混合ダブルス (年齢制限なし) |
| ②混合ダブルス 80 (合計 80 歳以上) |
| ③混合ダブルス 100 (合計 100 歳以上) |
| ④混合ダブルス 120 (合計 120 歳以上) |
| ⑤混合ダブルス 130 (合計 130 歳以上) |
| ⑥混合ダブルス 140 (合計 140 歳以上) |
| ⑦混合ダブルス 150 (合計 150 歳以上) |
| ⑧混合ダブルス 160 (合計 160 歳以上) |

※表彰は各種目 1~3 位までとし、該当選手にメダル、表彰状を授与する。ただし参加者が 8 名 (組) に満たない種目は 1、2 位のみでの表彰とする。

※男女シングルス 80・85、男女ダブルス 150・160、混合ダブルス 150・160 は A/B のクラス分けをしない。(A/B の区別については、(11) 参加資格④を参照のこと。)

- (8) 試合方法
- ①各種目とも 11 本 3 ゲームマッチとする。
 - ②男女シングルスおよび混合ダブルスは、第 1 ステージは 3 名（組）によるリーグ戦とし、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位・2 位の者（組）によるトーナメント方式とする。
 - ③男女ダブルスはトーナメント方式とする。ただし、大会参加人数が少なく、進行に影響がないと主管地が判断した場合、シングルス、混合ダブルスと同じ試合方法とする。

- (9) 競技日程（日程については参加申込数などにより大幅に変更することがあります。通常より参加人数増大する恐れが予想されますので場合により17日からの開催となります。簡易日程につきましては確定次第本会ホームページにて掲載いたしますのでご承知おき下さい。（5月下旬予定））

| | | | | |
|------|----------|----------|-------------|---------------------|
| (予定) | 6 月 | 17 日 (水) | 受付、練習 | |
| | | 18 日 (木) | 開会式 | (9:00～) |
| | 19 日 (金) | | 混合ダブルス | (130～160 決勝まで) |
| | | | 男女ダブルス | (130～160 一部決勝まで) |
| | | | 男女ダブルス | (130～160 決勝まで) |
| | | | 混合ダブルス | (120 予選の一部) |
| | 20 日 (土) | | 男女シングルス | (65～85 トーナメントの一部まで) |
| | | | 男女シングルス | (65～85 決勝まで) |
| | | | 混合ダブルス | (一般～120 決勝まで) |
| | | | 男女ダブルス | (一般～120 決勝まで) |
| | | | 男女シングルス | (一般～60 予選リーグの一部) |
| | 21 日 (日) | | 男女シングルス | (一般～60 決勝まで) |
| | | 閉会式 | (15:00～ 予定) | |

- (10) 競技ルール
- ①現行のラージボール卓球ルールによる。
 - ②使用球は、JTTA 公認球 44 mmを使用する（セルロイドとプラスチックの併用）。
 - ③表ソフトラバー（粒高ラバーを除く）のみが使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。
 - ④ゼッケンは平成 27 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
 - ⑤審判は第 1 ステージ・第 2 ステージ（トーナメント）ともに選手の相互審判および敗者審判で行う。

- (11) 参加資格
- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 27 年度（公財）日本卓球協会選手登録者であること。
 - ②年齢は、平成 28 年 4 月 1 日迄に当該年齢に達している者であること。
（但し、一般に出場する選手の年齢制限はない）
 (イ) 40（40 歳以上）は昭和 51 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 (ロ) 50（50 歳以上）は昭和 41 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 (ハ) 60（60 歳以上）は昭和 31 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 (ニ) 65（65 歳以上）は昭和 26 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 (ホ) 70（70 歳以上）は昭和 21 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 (ヘ) 75（75 歳以上）は昭和 16 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 (ト) 80（80 歳以上）は昭和 11 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 (チ) 85（85 歳以上）は昭和 06 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 - ③各選手は、3 種目のうち 2 種目まで出場できる。
 *2 種目出場する場合は必ずシングルスを含めて申込むこと。
 （例：男子ダブルス、混合ダブルスの 2 種目では申込はできない）
 *同一種目内において、一般と年代別を重複して出場はできない。
 - ④A/B クラス分け
 A クラス：全日本選手権大会（一般、マスターズ）、全日本社会人選手権大会出場者および過去の本大会 B クラス優勝者（ダブルス種目含む）および希望者
 B クラス：A クラス以外の者
 ※上記クラス分けは、申込時において選手の自己申告とする。

- ⑤ Aクラスの者とBクラスの者で組むダブルスはAクラスに出場するものとし、ダブルスのパートナーは同一加盟団体の者に限る。
- ⑥ 各都道府県の各種目の代表選手数には制限を設けない。(但し、その年の主管団体都道府県のみ、事前に周知徹底したうえで参加人数を制限することができる。)
必ず各都道府県の加盟団体の責任者が全種目を一括して申し込むこと。
※主管団体都道府県が予選会を開催し参加人数を調整した。
- ⑦ 審判ができること。(できれば公認審判員の資格を有することが望ましい)
なお、帯同者が替わりに審判をしてもよい。
- *平成27年度を目途に参加出場枠の制限を検討する。

(12) 参加料 シングルス1名 3,000円、ダブルス1組 4,000円

(13) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会)

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

コピーを 〒464-8540 愛知県名古屋千種区若水3-2-12 愛知工業大学名電高校内
愛知県卓球協会 宛
TEL (052) 722-3355、FAX (052) 722-3788

**注) 個人またはチームからの(公財)日本卓球協会への直接申込および送金は受け付けない。
必ず各都道府県の加盟団体が上記参加資格を確認し、一括して申込みをするものとする。**

(14) 申込締切 平成27年4月10日(金)必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(15) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(16) その他

- ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
- ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
- ③ 10回出場表彰を行います。該当者は参加申込書(10回表彰欄)に記入申請すること。
(10回目の出場者が対象。一度表彰された方は該当しません。)
- ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受ける事。
- ⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応致します。
- ⑥ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

第 34 回全日本クラブ卓球選手権大会

- (1) 名 称 第 34 回全日本クラブ卓球選手権大会
(2) 期 日 平成 27 年 7 月 17 日 (金) ~ 20 日 (月・祝)
(3) 会 場 相模原市立総合体育館
小田急線「相模大野」駅からバス女子美大学行き⇒「総合体育館前」下車 (25 分)
小田急線「相模大野」駅、JR 横浜線「古淵」駅からタクシー (各 20 分)
〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台 2284-1
TEL : 042-748-1781 FAX : 042-748-1747
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主 管 神奈川県卓球協会、相模原市卓球協会
(6) 後 援 神奈川県、神奈川県教育委員会、(公財)神奈川県体育協会、相模原市、相模原市教育委員会、
(公財)相模原市体育協会、(公財)相模原市まち・みどり公社、神奈川新聞社
- (7) 競技種目 (団体戦) (イ) 男子：一般の部 1 部 (ロ) 女子：一般の部 1 部
(ハ) 男子：一般の部 2 部 (ニ) 女子：一般の部 2 部
(ホ) 男子：50 代の部 (ヘ) 女子：50 代の部
(ト) 男子：60 代の部 (チ) 女子：60 代の部
(リ) 男子：小・中学生の部 (ヌ) 女子：小・中学生の部
- (8) 試合方法 競技は、第 1 ステージはリーグ戦、第 2 ステージはトーナメントで行う。
- 一般の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4~6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1、2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 50 代の部 : 選手は 50 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4~6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 60 代の部 : 選手は 60 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4~6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 小・中学生の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4~6 名 (中学生以下) を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス 1 ダブルスで編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。

| | | | | |
|-------|-----|----------------|-----|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 中学生以下 | 小学生 | 小・中学生 or 小学生同士 | 小学生 | 中学生以下 |

※小・中学生の部のみ年令の低い者が年令の高い所への出場することを認める。

※シングルスとダブルスの 2 試合に出場できるが、シングルスのみ 2 試合出場することはできない

※第 1 ステージのリーグ戦は原則 3 チームリーグとする

※申込後、監督会議終了までの登録選手の変更は 2 名までとし、いずれも予選に出場していない者とする。

また、監督会議後の変更は受け付けない。

※両チーム整列時に、試合に出場する既定の 4 名以上のメンバーがその場に整列していなければならない。

(メンバー不足の場合は団体戦として無効となる。)

※前年度のランキングチームであっても予選リーグより出場となる。

- (9) 競技日程 (日程については参加申込数により変更されます)

| | |
|------|---|
| 監督会議 | 各種目、競技日程初日前日の 15 : 00 ~ (於 :) |
| 競 技 | 7 月 17 日 (金) 50 代の部、60 代の部 |
| | 18 日 (土) 一般 2 部、50 代の部、60 代の部、小・中学生の部 |
| | 19 日 (日) 一般 1 部、2 部、小中学生の部 |
| | 20 日 (月) 一般 1 部、2 部 (参加数により 2 部を 3 日制にする) |

(10) 競技ルール

- ① 現行の日本卓球ルールによる。
- ② 全試合 11 本 5 ゲームで行う。
- ③ 使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40 mm ホワイトのみを使用する。
- ④ ゼッケンは平成 27 年度（公財）日本卓球協会指定のものを持参して使用すること。
- ⑤ 同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
- ⑥ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。

(11) 参加資格

- 1) 参加者は平成 27 年度、（公財）日本卓球協会登録者で構成するチームであり、選手は選手登録、監督、コーチは役員登録を出場チームにおいて登録をしていること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の新規選手登録は認められない。また、日学連、高体連に加盟している者は出場する事ができない。
 - 2) 参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。ただし以下の条件を全て満たした者はそのチームより出場できるものとする。
 - ① 隣接都道府県であり、同一クラブ名称で登録されていること。
 - ② 当該（登録地および出場地）加盟団团长から承認されていること。※なお、登録加盟団体以外（隣接都道府県）のチームから参加する場合は、当該年度を含め 2 年間は当該チーム以外からは出場できない。（出場する場合は 1 年間あけること）
（平成 28 年度より：登録加盟団体以外（隣接都道府県）のチームからの参加は 1 名に限り認める。平成 30 年度より：隣接都道府県からの参加は認めない。）
 - 3) 出場選手は（予選会を含めて）同一年度に一人一種目までとする。
 - 4) 卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
 - 5) 男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
 - 6) 予選出場選手と本大会の選手を、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームの選手がチームを代えて予選に出場できるのは 2 名までとする。予選方法は加盟団体に一任する。
 - 7) 前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件出場できる。但し、無条件参加資格を持つチームが、本大会の都道府県予選会に申込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものと取り扱う。
 - 8) 前年度ランキングチームが『前年度一般の部から 50 代の部』、『前年度 50 代の部から 60 代の部』に出場する場合、選手が 4 名以上同じであることを条件に推薦出場することができる。
 - 9) 外国籍の選手（日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは引き続き 10 年以上日本に在住している者は除く）は 1 試合 1 名 1 ポイントに限って参加資格が得られる。（シングルスとダブルスに重複して出場することは出来ない。）
 - 10) 本会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
 - 11) 本大会に出場した代表チームの選手は、第一三共ヘルスケアレディース 2015・第 38 回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。（但し、予選会を除く。）
 - 12) 一般の部 1, 2 部男・女は、第 65 回全日本実業団選手権大会（本大会）出場選手（参加登録者を含む）は出場できない。
 - 13) 一般の部 2 部男・女
 - ① 日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去 3 年間、（'12～'14）下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
 - ② 過去 3 年間（'12～'14）下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。（過去 3 年間に下記全国大会に出場した選手が 1 人でも含まれる場合には 1 部となる）
 - ③ 全日本実業団選手権大会（予選会を除く）に参加したことの無い企業チーム。
※下記大会に出場したことがあっても 40 歳以上の者は一般の部 2 部に出場できる。
- 全国大会 a) 全日本卓球選手権（一般・ジュニアの部）、b) 全日本選手権（団体の部）、c) 国民体育大会、
d) 全日本社会人卓球選手権、e) 全国高等学校卓球選手権（シングルス・ダブルス）、
f) 全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）
- 14) 50 代の部男・女は、昭和 41 年 4 月 1 日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（50 才以上）
 - 15) 60 代の部男・女は、昭和 31 年 4 月 1 日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（60 才以上）

16) 小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年令の低い者だけで構成してもよい。

17) 前年度一般2部優勝チームのみが一般1部に推薦出場するものとしその他の一般2部のランキングチームは一般1部もしくは一般2部いずれかを選択し推薦出場できる。

18) 参加資格に違反した場合は失格とする。なお、大会後に発覚した場合は成績(ランキング)を剥奪し、当該チームは翌年度の本大会に出場することはできない。

19) 2)、9)を適用する団体は申込書にその旨を明記すること。

(隣接は登録都道府県、外国籍選手は※と備考に記載)

(12) 参加数 一般1部、一般2部、50代の部、60代の部

| 区分 | 都道府県名 | 出場枠 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 神奈川(開催県),北海道,東京,愛知,福岡 | 4 |
| 2 | 埼玉,静岡,京都 | 3 |
| 3 | 千葉,大阪,岡山,長崎 | 2 |
| 4 | その他の府県 | 1 |

小・中学生の部

| 区分 | 都道府県名 | 出場枠 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 神奈川(開催県),北海道,千葉,静岡 | 4 |
| 2 | 福島,茨城,新潟,兵庫 | 3 |
| 3 | 栃木,埼玉,愛知,岐阜 | 2 |
| 4 | その他の府県 | 1 |

区分1:開催県及び平成26年度日卓協該当登録人口上位4加盟団体

区分2:平成26年度日卓協該当登録人員5~8位加盟団体

区分3:平成26年度日卓協該当登録人員9~12位加盟団体

区分4:区分1・2・3に該当しない加盟団体

*予選会の出場数による追加枠は平成26年度より廃止されました。

(13) 参加料 団体戦 一般の部1,2部、50,60代の部 1チーム 30,000円
小・中学生の部 // 20,000円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、推薦チームを含め下記宛申し込むこと。

尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて(公財)日本卓球協会宛送金のこと。

(振込先:みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会)

(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて送金してください。)

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

(公財)日本卓球協会 宛

TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

コピーを 〒251-0012 神奈川県藤沢市村岡東1-19-7 松本益雄 様 気付

神奈川県卓球協会 宛

TEL: (090) 6306-2033 FAX: (0466) 25-0690

(15) 申込締切 平成27年6月1日(月)必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿泊申込 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) その他 1)やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。

2)10年連続本大会出場チームで未表彰のチームに対し、本会が表彰するので該当チームは申込書にその旨記載すること。

- 3)男女一般1部より各1名最優秀選手を表彰する。
- 4)第49回全日本社会人選手権大会への推薦出場選手は、本大会の成績によりクラブ委員会が推薦する。
- 5)『世代交流の部』は当面休止とする。(会場規模で再開する可能性もある。)
- 6)病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- 7)大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- 8)個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

(18) 第34回全日本クラブ卓球選手権大会推薦出場チーム

第33回全日本クラブ卓球選手権大会ランキング

| | |
|----------------------------|----------------------------|
| 男子一般の部1部 | 女子一般の部1部 |
| 1 T. O. M (東京) | 1 MILFLUR (東京) |
| 2 KTY長崎 (長崎) | 2 フェニックス卓球クラブ (福井) |
| 3 TTC浦和・土合B (埼玉) | 3 T L S (千葉) |
| 4 流山アストロズ (千葉) | 4 H I B I K I (大阪) |
| 5 I T S三鷹 (東京) | 5 新大クラブ (新潟) |
| 6 カヴァヌーラ (神奈川) | 6 札幌U n i t y (北海道) |
| 7 リトルキングス (神奈川) | 7 木更津クラブ (千葉) |
| 8 L e eクラブ (神奈川) | 8 仙台卓球センタークラブ (宮城) |
| 男子一般の部2部 | 女子一般の部2部 |
| 1 久御山明伸館 (京都) | 1 美鷹クラブENJOY (東京) |
| 2 美しが丘クラブA (神奈川) | 2 卓精会 (東京) |
| 3 ドリーム (静岡) | 3 チャイム (神奈川) |
| 4 青嵐クラブ (神奈川) | 4 T&Tクラブ (東京) |
| 5 G L O R Y (福島) | 5 サンシャイン (北海道) |
| 6 川西クラブ (兵庫) | 6 九十九 (東京) |
| 7 大阪ナイトクラブ (大阪) | 7 札幌U n i t y (北海道) |
| 8 G R O U N D Z E R O (東京) | 8 T R Y (大阪) |
| 男子50代の部 | 女子50代の部 |
| 1 福卓会 (福島) | 1 C O L O R (神奈川) |
| 2 高倉クラブ (神奈川) | 2 みらくる (大阪) |
| 3 MD相模 (神奈川) | 3 千代田クラブ(A) (東京) |
| 4 秋山卓球 (福岡) | 4 大田クラブ (東京) |
| 5 卓精会 (東京) | 5 冠雲クラブ (東京) |
| 6 卓楓会 (東京) | 6 豊中卓球クラブ (大阪) |
| 7 日産追浜 (神奈川) | 7 甲子園クラブ (兵庫) |
| 8 九十九 (東京) | 8 千代田クラブ(B) (東京) |
| 男子60代の部 | 女子60代の部 |
| 1 清友クラブ (大阪) | 1 あすか (兵庫) |
| 2 友卓会 (東京) | 2 武蔵野クラブ (東京) |
| 3 チームT A I S H O (埼玉) | 3 サザンスターズ (東京) |
| 4 サザンクロス (東京) | 4 淑友クラブ (東京) |
| 5 テニシヤス・ナカーズ (神奈川) | 5 板橋クラブ (東京) |
| 6 代々木クラブ (東京) | 6 つばさクラブ (東京) |
| 7 双葉苦楽部 (東京) | 7 卓習会 (東京) |
| 8 川西ギャラントム (兵庫) | 8 江戸川クラブ (東京) |
| 男子小・中学生の部 | 女子小・中学生の部 |
| 1 羽佳卓球倶楽部 (東京) | 1 ミナミラボ (福井) |
| 2 華兵ロードスカイA (兵庫) | 2 玖珂S C J r (山口) |
| 3 ねや卓球クラブ (岡山) | 3 フェニックス卓球クラブ (福井) |
| 4 卓研ジュニアクラブ (岐阜) | 4 マイダス (東京) |
| 5 ミナミラボ (福井) | 5 岸田クラブ (神奈川) |
| 6 アカシア (福岡) | 6 新発田ジュニア (新潟) |
| 7 江卓会 (北海道) | 7 フォレスタ (大阪) |
| 8 伊丹ジュニア (兵庫) | 8 S h o c h i J r.瀬高A (福岡) |

第 65 回全日本実業団卓球選手権大会

- (1) 名称 第 65 回全日本実業団卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 27 年 7 月 23 日 (木) ～26 日 (日)
- (3) 会 場 千葉ポートアリーナ
千葉モノレール「市役所前」駅 徒歩 8 分、京成電鉄・千葉線「千葉中央」駅 徒歩 12 分
JR「千葉」駅 徒歩 16 分
〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 1-20
TEL (043) 241-0006 FAX (043) 241-0164
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会、日本卓球リーグ実業団連盟
- (5) 主管 千葉県卓球連盟、千葉市卓球協会
- (6) 後援 厚生労働省、千葉県、千葉県教育委員会、(公財)千葉県体育協会、
千葉市、千葉市教育委員会、千葉市体育協会、千葉日報新聞社 (予定)
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 ①チームは監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 名～6 名を登録し、4 シングルス・1 ダブルスで編成し、3 番目にダブルスをおき、3 点先取法により行う。又、各選手は単複に重複して出場することができるが、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
②外国籍の選手は全種目とも、各試合で単・複いずれか 1 回のみ出場とする。
③競技は、第 1 ステージはリーグ戦、第 2 ステージはトーナメントで行われる。但し、男子は推薦出場の上位 16 チームをシードチームとし、そのうち上位 8 チームがスーパーシードとなり第 2 ステージのベスト 8 決定戦から、他の 8 チームがベスト 16 決定戦から出場する。また、女子は推薦出場の上位 8 チームをシードとし、同様に第 2 ステージから出場する。
④第 2 ステージの準々決勝～決勝を「チャンピオントーナメント」とし、ベスト 8 決定戦で敗れた 8 チームで行なうトーナメントを「G1 トーナメント」、ベスト 16 決定戦で敗れた 8 チームで行なうトーナメントを「G2 トーナメント」とするコンソレーションマッチを行なう。但し、G1、G2 トーナメントにおいて、総参加数により 8 チームに満たない場合は、本会で対象チームを選出する(女子においては G2 トーナメントに第 1 ステージのリーグ戦 2 位のチームが該当する場合がある)。
- (9) 競技日程
- | | | |
|--------------|--------|---|
| 7 月 23 日 (木) | 12:00～ | 監督会議 |
| | 13:00～ | 開会式 |
| | 14:30～ | 男子：第 1 ステージ第 1 試合、第 2 試合の一部 |
| 24 日 (金) | 9:00～ | 男子：第 1 ステージ残り、第 2 ステージ 1 回戦 女子：第 1 ステージ |
| 25 日 (土) | 9:00～ | 男子：第 2 ステージ 2 回戦～準々決勝 G1 トーナメント 1 回戦、G2 トーナメント 1, 2 回戦 女子：第 1 ステージ、第 2 ステージ準々決勝まで G1 トーナメント 1 回戦、G2 トーナメント 1, 2 回戦 |
| 26 日 (日) | 9:00～ | 準決勝～決勝 G1 トーナメント準決勝・決勝、G2 トーナメント決勝 |
| | 15:00～ | 表彰式、閉会式 |
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②テーブルはグリーン又はブルーを使用する。
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40 mm ホワイトのみとする。
④ゼッケンは平成 27 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①各都道府県の予選を勝ち抜いたチームならびに推薦出場チームを構成する選手は平成 27 年度 (公財) 日本卓球協会選手登録をし、監督・コーチは当該年度 (公財) 日本卓球協会役員登録をする。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。選手は段級制規程 (注 1 参照) に定められた有段者とする。尚、申し込み後の選手変更は監督会議で承認された場合に限る。監督会議後の変更は認められない。

- ②チーム編成は、原則として同一都道府県内の同一官公庁・警察署・消防署・工場・会社・商店・学校（以下団体という）単位とし、平成27年4月30日以前から引続き当該団体に正社員、正職員、契約社員（1年以上の契約）または嘱託（1年以上の契約）として勤務（所属）している加盟会員とする。（学校の場合、学生、生徒を除く）
- ③②の条件でチーム編成ができない場合、同一都道府県内および他都道府県にある同一名称のつく支局・支社及び各工場等とチームを統合してもよい（チーム名にA、B、などを冠したものは同一チームと見なす）。その場合、他都道府県登録選手2名までをチームに加えることを認める。ただし、その選手の本来所属している団体が大会出場（予選会を含む）している場合、関連他チームへ加わることはできない。また、予選会で敗れたチームからの補充はできない。
- ④③を適用する団体は、各都道府県の予選会および本大会への申込書にその旨を明記すること。なお、チーム編成に不正とみなされることがあった場合は失格とすることがある。
- ⑤推薦出場チーム
男・女共、日本リーグ1部・2部の全チームおよび、前回大会の男子ベスト32のチーム及び女子ベスト16のチームとする。
- ⑥参加資格等に疑義があるときは、本会が調査審議の上、その可否を決定する。

(12) 参加数 前記の推薦出場のチームを除いて、各加盟団体の代表チーム数を下記の通りとする。

| | 都 道 府 県 | 代表チーム数 |
|-----|----------------------|--------|
| 男 子 | 千葉（開催地）、埼玉、東京、神奈川、大阪 | 5 |
| | 上記以外の道府県 | 3 |
| 女 子 | 千葉（開催地）、東京 | 5 |
| | 上記以外の道府県 | 3 |

※直近3年間で代表枠を1回でも満たした下記加盟団体は上記枠以外に1枠増枠する。

男子：北海道、秋田、茨城、群馬、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、広島、山口、大分、鹿児島

女子：兵庫

(13) 参加料 1チーム 50,000円

(14) 申込方法 推薦出場チームを含めて、出場チームは別紙参加申込書に必要事項を明記し、参加料を添えて、チームが所属する各都道府県加盟団体に提出する。提出を受けた加盟団体は申込書に団体長印を捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は書留郵便又は振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。（チームから直接本会へ申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

コピーを〒277-0005 千葉県柏市柏5-8-12 紙谷 保男気付

千葉県卓球連盟 宛

TEL・FAX: (047) 164-0793

(15) 申込締切 平成27年6月8日（月）必着のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) その他 ①監督会議 (イ) 日時：平成27年7月23日（木） 12:00～
(ロ) 会場：カンデオホテル会議室（試合会場に隣接）

②練習会場：サブアリーナ（千葉ポートアリーナ内）

日 時： (A) 7月23日（木） 9:00～12:00、14:00～19:00

(B) 7月23日（木）～25日（土） 9:00～19:00

(C) 7月26日（日） 9:00～12:00

- ③やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
- ④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ⑥個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

第 65 回（平成 27 年度）全日本実業団卓球選手権大会推薦出場チーム

※ 下表の他、日本リーグ 1 部・2 部に所属するチームは推薦出場となる。

| 男 子 | | | 女 子 | | |
|-------------------|-------------|--------|-------------------|--------------|-------|
| 1 | 協和発酵キリン | (東 京) | 1 | 日立化成 | (茨 城) |
| 2 | シチズン | (東 京) | 2 | 十六銀行 | (岐 阜) |
| 3 | 東京アート | (東 京) | 3 | 日本生命 | (大 阪) |
| 4 | リコー | (東 京) | 4 | サンリツ | (東 京) |
| 5 | 日鉄住金物流 | (和歌山) | 5 | 中国電力 | (広 島) |
| 6 | 信号器材 | (神奈川) | 6 | アスモ | (静 岡) |
| 7 | 原田鋼業 | (広 島) | 7 | 豊田自動織機 | (愛 知) |
| 8 | 岡谷市役所 | (長 野) | 8 | 東信電気 | (神奈川) |
| ベ ス ト 16 | 新日鐵住金名古屋 | (愛 知) | ベ ス ト 16 | 広島日野自動車 | (広 島) |
| | トヨタ自動車 | (愛 知) | | J R北海道 | (北海道) |
| | N T T 東日本東京 | (東 京) | | エクセディ | (三 重) |
| | 岐阜信用金庫 | (岐 阜) | | 愛媛銀行 | (愛 媛) |
| | 東信電気 | (神奈川) | | 東芝メディカルシステムズ | (東 京) |
| | ファースト | (千 葉) | | | |
| ベ ス ト 24 | 青木信用金庫 | (埼 玉) | ベ ス ト 24 | 鶴谷病院 | (群 馬) |
| | 松戸市役所 | (千 葉) | | 東京ガス | (東 京) |
| | | | | ボッシュ | (埼 玉) |
| | | | | J R北海道 | (北海道) |
| | | | | 旺文社 | (東 京) |
| | | | | 協和発酵バイオ | (山 口) |
| ベ ス ト 32 | | | ベ ス ト 32 | 豊田自動織機 | (愛 知) |
| | | | | 栃木銀行 | (栃 木) |
| | | | | T E N R Y U | (岐 阜) |
| | | | | 鹿児島相互信用金庫 | (鹿児島) |
| | | | | 藤ミレニアム | (大 阪) |
| | | | | 川崎重工業 | (岐 阜) |
| | | 伊達病院 | (鹿児島) | | |
| | | 日野自動車 | (東 京) | | |
| | | シンコー | (広 島) | | |
| | | 水戸信用金庫 | (茨 城) | | |

注 1) 段級制規程要約

段位取得について（平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段級制）規程改正に基づく）

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部）③全日本選手権大会（一般・ジュニア）
- ④全日本選手権大会（団体の部）⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 段位取得規程要約（平成元年以降） | |
| (ア) 初出場者 | 初段 |
| (イ) 同一大会 3 回目出場者 | 2 段 |
| (ウ) 同一大会 5 回目出場者 | 3 段 |
| (エ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 16 入り経験者 | 4 段 |
| (オ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 4 入賞経験者 | 5 段 |
| (カ) 上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者 | 6 段 |

全農杯 平成 27 年度全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)

- (1) 名 称 全農杯 平成 27 年度全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)
- (2) 期 日 平成 27 年 7 月 24 日(金)～26 日(日)
- (3) 会 場 神戸総合運動公園内体育館 (グリーンアリーナ神戸)
神戸市営地下鉄「西神中央」行き乗車、「総合運動公園駅」下車：徒歩 3 分
〒654-0163 神戸市須磨区緑台
TEL (078) 796-1155 FAX (078) 796-1125
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 兵庫県卓球協会、神戸市卓球協会
- (6) 特別協賛 全国農業協同組合連合会
- (7) 後 援 兵庫県、兵庫県教育委員会、(公財)兵庫県体育協会、
神戸市、神戸市教育委員会、(公財)神戸市スポーツ教育協会、(公財)神戸市公園緑化協会、
スポーツニッポン新聞社、スポーツ報知
- (8) 協 力 神戸ウォーター(株)、兵庫ヤクルト販売(株)
- (9) 競技種目 ①ホープス男子シングルス (小学 6 年生以下)
②ホープス女子シングルス (小学 6 年生以下)
③カブ男子シングルス (小学 4 年生以下)
④カブ女子シングルス (小学 4 年生以下)
⑤バンビ男子シングルス (小学 2 年生以下)
⑥バンビ女子シングルス (小学 2 年生以下)
- (10) 試合方法 ①各種目とも全試合 1 ゲーム 11 点、5 ゲームマッチで行う。
②各種目とも、第 1 ステージは各グループ 3～4 名によるリーグ戦とし、各グループ 1 位の者が第 2 ステージ(決勝トーナメント)に進む。
③前年度ランキング選手であっても、第 1 ステージから出場するものとする。
- (11) 競技日程 7 月 24 日(金) 10:00 開会式(於:グリーンアリーナ神戸)
男女各種目第 1 ステージ
25 日(土) 9:00 男女各種目第 1 ステージと第 2 ステージ 1 回戦
26 日(日) 9:00 男女各種目第 2 ステージ 3 および 4 回戦～決勝まで
14:00 閉会式
- (12) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はグリーン又はブルーを使用する。卓球台の高さは、バンビのみ 66 cm を使用する。
③使用球はホープス・カブ・バンビとも、J T T A 公認 プラスチック球 ; 40 mm ホワイトのみとする。
④粒高ラバーとアンチ系ラバーの使用制限はない。
⑤ゼッケンは平成 27 年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑥同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
⑦ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (13) 参加資格 ①参加者は平成 27 年度(公財)日本卓球協会 選手登録者 であること。
②ホープスは小学 6 年生以下で平成 15 年 4 月 2 日以降生まれたものであること。
カブは小学 4 年生以下で平成 17 年 4 月 2 日以降生まれたものであること。
バンビは小学 2 年生以下で平成 19 年 4 月 2 日以降生まれたものであること。
③選手は登録されている当該都道府県より、各都道府県卓球協会(連盟)主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
④本大会は該当年齢より上の種目にも予選会に出場して代表権を得た場合参加できる。ただしバンビ、カブ、ホープスのうちの 1 種目にのみ出場できる。

⑤平成 26 年度のランキング保持者は、割当人数以外に予選会を経ないで、次の種目に参加することができる。

- (イ) バンビのランキング保持者で現在 2 年生以下のものはバンビまたはカブ。
- (ロ) バンビのランキング保持者で現在 3 年生のものはカブ。
- (ハ) カブのランキング保持者で現在 4 年生以下のものはカブまたはホープス。
- (ニ) カブのランキング保持者で現在 5 年生のものはホープス。
- (ホ) ホープスのランキング保持者で現在 6 年生以下のものはホープス。

※但し、これらの選手も必ず都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。

(14) 参加数 ①下表の通り

| 都 道 府 県 名 | ホープス・カブ・バンビ 男 女 各 |
|--|----------------------|
| 兵庫(開催地)、青森 | 10名 |
| 福島 | 9名 |
| 愛知 | 8名 |
| 北海道、山形 | 7名 |
| 鳥取 | 6名 |
| 秋田、東京、福井、岐阜 | 5名 |
| 岩手、茨城、埼玉、新潟、長野、富山、静岡、大阪、岡山、広島 | 4名 |
| 千葉、神奈川、石川、島根、山口、福岡、長崎、熊本、大分 | 3名 |
| 宮城、栃木、群馬、山梨、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、宮崎、鹿児島、沖縄 | 2名 |

②特別推薦枠：前記の人数以外に各都道府県に、次のとおり推薦枠を設ける。

但し、ペンホルダー選手※に限る。

- (イ) 競技種目①または②のどちらかの種目に 1 名
- (ロ) 競技種目③または④のどちらかの種目に 1 名
- (ハ) 競技種目⑤または⑥のどちらかの種目に 1 名

なお、申込書備考欄に「特別枠」と明記すること。

※特別推薦枠の対象となるペンホルダー選手について

- 1) 予選大会でシェークハンドであった選手をペンホルダーに変えて推薦するようなことは認められない。
- 2) 裏ソフトラバーまたは表ソフトラバーを主戦としたスタイルとし、フォアハンドつぶ高、アンチ主戦の選手は避けること。但し、つぶ高、アンチラバーを裏面に貼り、補助的ないし戦術的に利用する場合は問題ないものとする。

③ランキングによる加算：平成 26 年度本大会の各種目のランキング 8 名の内に 2 名以上のランキング者を持つ加盟団体（別紙ランキング表に太字で表示）は、当該種目に限り 2 名につき 1 名追加して申し込むことができる。

(15) 参加料 1 人 3,000 円

(16) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛

TEL：(03) 3481-2371、FAX：(03) 3481-2373

コピーを〒665-0024 兵庫県宝塚市逆瀬台 5-15-8 武内 昇 気付
兵庫県卓球協会 宛

TEL・FAX：(079) 771-7919

- (17) 申込締切 平成 27 年 6 月 9 日 (火) 必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず (公財) 日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (18) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (19) そ の 他
- ①一旦申し込まれた選手の締切後の変更は原則として認めない。
 - ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
 - ③開会式には原則として全員参加すること。
 - ④大会期間中『フェアプレー』をした選手に対し、全種目を通して男女各 1 名をフェアプレー賞として表彰する。但し、該当者なしとすることもある。
 - ⑤病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
 - ⑥大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 - ⑦クラブ登録選手で所属を在籍校で出場する場合はその理由を明記の上、加盟団体を通じて本会に申し出ること。
 - ⑧個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

平成 26 年度全日本卓球選手権大会 (ホープス・カブ・バンビの部) ランキング

| ホープス男子 | ホープス女子 |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1 張本 智和 (宮 城) 仙台ジュニアクラブ | 1 長崎 美柚 (神奈川) 岸田クラブ |
| 2 松田 歩真 (兵 庫) 華兵ロードスカイ | 2 高橋あかり (東 京) マイダス |
| 3 小林 広夢 (東 京) ワイワイ卓球 | 3 川北 帆香 (埼 玉) Shochi Jr |
| 4 内田 終平 (東 京) 秋川クラブ | 4 横山 瞳 (東 京) 秋川クラブ |
| 5 中川 泰雅 (岡 山) T. Cマルカワ | 5 江上 明里 (福 岡) Shochi Jr. 瀬高 |
| 6 手塚 峻馬 (長 野) J U P I C | 6 菅澤柚花里 (神奈川) 酒匂卓球キッズ |
| 7 曾根 翔 (兵 庫) 卓栄Kid's | 7 出澤 杏佳 (茨 城) 日立大沼卓球 |
| 8 荒井 和也 (福 島) 郡山第一卓球クラブ | 8 中森 帆南 (兵 庫) 川西ギャラントム |
| カブ男子 | カブ女子 |
| 1 鈴木 颯 (山 形) 鈴木卓球 | 1 木原 美悠 (兵 庫) ALL STAR |
| 2 玉井 嵩大 (北海道) 江卓会 | 2 小野 立夢 (埼 玉) TKOクラブ |
| 3 丸山 蒼葉 (千 葉) マイダス | 3 横井 咲桜 (岐 阜) O. T. T. C |
| 4 吉山 僚一 (埼 玉) 羽佳卓球倶楽部 | 4 大藤 沙月 (福 井) フェニックス卓球クラブ |
| 5 吉本 豊 (岐 阜) 和田TTC | 5 高橋 奈未 (福 岡) 豊前JTC |
| 6 田尻 要 (熊 本) 城山ひのくにジュニア | 6 原 芽衣 (栃 木) 城山卓球クラブジュニア |
| 7 管 琉乃介 (埼 玉) 松山TTS | 7 赤江 夏星 (兵 庫) TTCムラタ |
| 8 高橋航太郎 (福 島) 二本松卓研 | 8 山崎 唯愛 (広 島) ピンポンカベ |
| バンビ男子 | バンビ女子 |
| 1 松島 輝空 (京 都) 田阪卓研 | 1 堀江 うた (兵 庫) スポーツ21峰相 |
| 2 石山 浩貴 (大 阪) フォレスタ | 2 大塚 未来 (埼 玉) 大塚クラブ |
| 3 吉山 和希 (埼 玉) 羽佳卓球倶楽部 | 3 張本 美和 (宮 城) 仙台ジュニアクラブ |
| 4 佐伯 爽翔 (山 口) 徳山卓研スポーツ少年団 | 4 山岸 愛菜 (新 潟) 上越ジュニア |
| 5 花見 悠斗 (愛 知) 米田道場 | 5 川森 天詩 (滋 賀) 山卓 |
| 6 菅沼 翔太 (山 形) やくわクラブ | 6 原田 優衣 (福 島) 喜多方卓球ランド |
| 7 金丸 貴哉 (大 阪) AKクラブ | 7 境 千捺 (熊 本) 大石卓球クラブ |
| 8 植木 大陽 (石 川) かほくジュニア | 8 上澤 杏音 (栃 木) 城山卓球クラブジュニア |

第一三共ヘルスケア・レディース 2015・第 38 回全国レディース卓球大会

- (1) 名称 第一三共ヘルスケア・レディース 2015・第 38 回全国レディース卓球大会
(2) 期 日 平成 27 年 7 月 31 日 (金) ～8 月 2 日 (日)
(3) 会 場 秋田市立体育館
JR「秋田」駅西口よりバス 県立プール線、臨海営業所線「市立体育館前」下車
// タクシー約 15 分
〒010-0973 秋田県秋田市八橋本町 6-12-20 TEL : 018-866-2600

- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主 管 秋田県卓球協会
(6) 後 援 秋田県、(公財)秋田県体育協会、秋田市、秋田市教育委員会、秋田市卓球連盟、秋田魁新報社、NHK 秋田放送局、ABS 秋田放送、AKT 秋田テレビ、AAB 秋田朝日放送、CNA 秋田ケーブルテレビ
(7) 協 賛 第一三共ヘルスケア株式会社 (予定)
(8) 競技種目 ①団体戦 (4 単 1 複) ②個人戦ダブルス (合計年齢別)
(9) 試合方法 ①団体戦

(イ) チーム編成

各チーム共、監督 1 名、コーチ 1 名、選手 6～9 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいな
いチーム編成も認める)。競技は 6 名による 1 ダブルス 4 シングルスで行う。なお、選手が監督、
コーチを兼ねることは差し支えないが、必ず役員登録をすること。

(ロ) オーダー順序

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------|-------|------|-------|-------|
| 60歳以上 | 50歳以上 | ダブルス | 40歳以上 | 30歳以上 |

- 1) 出場選手は、シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。
- 2) 年齢条件を満たす場合、選手は試合毎に出場年代を変更して出場する事が出来る。
- 3) ダブルスには、年齢条件はない。

(ハ) 試合方法

- 1) 原則として 3 チームによる第 1 ステージ (リーグ戦) を行い、各ブロックの同一順位同士によ
る第 2 ステージ (トーナメント) を行う。
- 2) 第 1 ステージ (リーグ戦) は、勝敗に関係なく全試合 (5 番まで) 行うものとする。(例:A 対
B の試合で 3-0 の後、B が 2 点とった場合 3-2 と記録される。) なお、その記録結果は、リー
グ内で試合得点と同じ場合にすべて比率計算対象となる。
- 3) 第 2 ステージ (トーナメント) は 3 点先取で行う。

(ニ) 第 1 ステージ (リーグ戦) の順位決定について

- 1) 第 1 ステージ (リーグ戦) の順位はそのグループ内での勝者を 2 点、敗者を 1 点、不戦敗を 0
点とした試合得点を与えるものとし、試合得点の多い順に順位を決定する。
- 2) 同一グループ内で 3 チームの試合得点と同じ場合は、行われた全マッチの比率計算 (勝÷負)
による。
- 3) 2) が同率の場合、行われた全ゲームの比率計算による。
- 4) 全ゲームが同率の場合、行われた全試合のポイントの比率計算によるものとする。

(ホ) 表彰

- 1) 第 2 ステージ (1 位トーナメント) の 1～3 位 (ベスト 4) を表彰する。

②個人戦(ダブルス)

(イ) 試合方法

2 名の合計年齢で下記 3 種目とし、各種目毎に 3～4 組で第 1 ステージ (リーグ戦) を行い、各
リーグ 1 位の組による第 2 ステージ (トーナメント) を行う。(尚、参加数によってはリーグ
2・3(4)位による第 2 ステージ (トーナメント) を行う場合がある。)

- A. 合計年齢 60～109 歳
- B. 合計年齢 110～125 歳
- C. 合計年齢 126 歳以上

※年齢は、平成 28 年 4 月 1 日迄に当該年齢に達している者である事。

※合計年齢の多いペアが合計年齢の少ない種目への出場を認め、予選方法については各都道府県
に一任する。

(ロ) 表彰

第 2 ステージ (1 位トーナメント) の 1～3 位 (ベスト 4) を表彰する。

- (10) 競技日程
- | | | |
|----------|--------|----------------------|
| 7月31日(金) | 14:30～ | 監督会議 |
| | 15:30～ | 開会式 |
| 8月01日(土) | 9:00～ | 団体第1ステージ(リーグ戦) |
| | | 第2ステージ(トーナメント) 1・2回戦 |
| | | 個人第1ステージ(リーグ戦) |
| | | 第2ステージ(トーナメント) 1～3回戦 |
| 02日(日) | 9:00～ | 団体・個人、第2ステージ |
| | 13:30～ | 閉会式(試合進行により前後あり) |

- (11) 競技ルール
- ① 現行の日本卓球ルールによる。
 - ② 卓球台はグリーン又はブルーを使用する。
 - ③ 同色のユニホームによる対戦をさけるため2種類以上の色の違うユニホームを持参すること。
 - ④ 使用球は、J T T A公認プラスチック球；40 mmホワイトのみとする。
 - ⑤ ゼッケンは本会が交付したものを使用すること。

- (12) 参加資格
- ① 団体戦
 - (イ) 平成27年度(公財)日本卓球協会選手登録者であること。監督・コーチは役員登録、選手は選手登録をする。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
 - (ロ) 編成チームのメンバーは原則として同一クラブに所属していること。但し、同一クラブで年齢制限等により編成ができない場合に限り、当該加盟団体長の承認があれば同一都道府県内において混成クラブでのチーム編成ができる。(隣接都道府県での編成は認めない)
 - (ハ) 同一クラブで、A/B/C…などに区分して予選に出場することができる。但し、代表決定後A/B/Cのチーム間で選手交換することはできない。
 - (ニ) 参加年齢は30歳以上の女性とする。(監督、コーチはこの限りではない。)
 - 年齢は、平成28年4月1日迄に当該年齢に達している者である事。
 - 30歳以上 昭和61年4月1日以前に生まれた者であること。
 - 40歳以上 昭和51年4月1日以前に生まれた者であること。
 - 50歳以上 昭和41年4月1日以前に生まれた者であること。
 - 60歳以上 昭和31年4月1日以前に生まれた者であること。
 - (ホ) 参加チームは各都道府県加盟団体主催の予選会を通過したチームとし、各都道府県の代表として参加すること。予選会の方法は加盟団体に一任する。
 - (ヘ) チーム内に第34回全日本クラブ卓球選手権大会(平成27年度)と本大会に重複出場することはできない。
 - (ト) 監督会議での選手変更は2名までとする。但し、予選会で敗れたチームからの交換補充はできない。
 - (チ) 前年度ベスト8のチームは、チーム構成に前年度出場選手4名を含めることを条件に推薦出場できる。(表1)
 - ② 個人戦
 - (イ) 上記団体戦資格に準ずる。但し、同一都道府県内であれば所属の異なる選手同士でペアを組むことは認められる。
 - (ロ) 団体戦参加者(登録者)は出場できない。
 - (ハ) 第34回全日本クラブ卓球選手権大会と本大会に重複しての出場はできない。
 - (ニ) 前年度各種目のベスト4のペア(表1)は該当する合計年齢の種目に無条件出場することができる。

(13) 参加数

| 都道府県名 | チーム戦 | 個人戦(ダブルスA) | 個人戦(ダブルスB) | 個人戦(ダブルスC) |
|---|------|------------|------------|------------|
| 秋田(開催地) 愛知, 福岡 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 北海道, 埼玉, 東京, 神奈川, 京都 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 千葉, 静岡, 大阪, 兵庫, 岡山, 広島 山口, 長崎, 熊本, 大分, 鹿児島 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| その他の県 | 1 | 1 | 1 | 1 |

※ 主管地は、総出場数が参加枠を満たさず運営規模に余力があると判断したときは、独自の判断で参加数を増やすことができる。なお、そのチーム選出については、本会と主管団体で別途協議する。

- (14) 参加料
- | | | |
|-----------|-------|----------|
| 団体戦 | 1 チーム | 20,000 円 |
| 個人戦(ダブルス) | 1 組 | 4,000 円 |

- (15) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。
尚、参加料は現金書留郵便または振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。
（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）
（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）
原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内 （公財）日本卓球協会 宛
TEL：03-3481-2371、FAX：03-3481-2373
コピーを 〒010-0918 秋田県秋田市泉南三丁目-13-10
秋田県卓球協会 宛
TEL・FAX：018-824-2166
- (16) 申込締切 平成 27 年 6 月 1 日（月）必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (17) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (18) そ の 他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
②開会式には原則として全員参加すること。
③監督会議： 日時 7 月 31 日（金）14:30～
場所 秋田市立体育館多目的ホール
④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受けることが望ましいです。
⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

表 1

| | |
|--------------------------|-------------------------|
| 〔団体の部〕 ◎1位トーナメント | |
| 1位. H P C (大 阪) | 5位. 狭山フレンズ (埼 玉) |
| 2位. K Y レディース (福 島) | 5位. ベリーズ (愛 知) |
| 3位. 都クラブ (京 都) | 5位. 駒場クラブ (埼 玉) |
| 3位. トヨタ自動車OG (愛 知) | 5位. 三峰 (埼 玉) |
| 〔ダブルスの部〕 a. 合計年齢60～109歳 | |
| 1位. 藤原 佳子 (F L E X ・東京) | 3位. 上野 順子 (小浜クラブ・兵庫) |
| 矢島真樹子 (ワイワイ卓球・東京) | 植村 恵 (小浜クラブ・兵庫) |
| 2位. 中村 理美 (天理クラブ・奈良) | 3位. 安部 香織 (長吉卓球センター・大阪) |
| 藤川 牧子 (フレッシュ・奈良) | 笹川伊都子 (長吉卓球センター・大阪) |
| 〔ダブルスの部〕 b. 合計年齢110～125歳 | |
| 1位. 有田 廣美 (竹の子牧方クラブ・大阪) | 3位. 山下 裕美 (愛球クラブ・愛知) |
| 松野美智子 (竹の子牧方クラブ・大阪) | 熊谷ふみ子 (ふう・愛知) |
| 2位. 中山美江子 (綾瀬クラブ・神奈川) | 3位. 翁 淑美 (久留米フレンド・福岡) |
| 白井ひとみ (綾瀬クラブ・神奈川) | 石井美恵子 (久留米フレンド・福岡) |
| 〔ダブルスの部〕 c. 合計年齢126歳以上 | |
| 1位. 持田 恵子 (サクセス・愛知) | 3位. 吉柳美代子 (パワフル・福岡) |
| 船ヶ山昌子 (サクセス・愛知) | 中村 洋子 (パワフル・福岡) |
| 2位. 河路 悦子 (A F クラブ・愛知) | 3位. 鳥居 泰子 (あすなるクラブ・愛知) |
| 相馬 伸子 (A F クラブ・愛知) | 黒坂 初枝 (あすなるクラブ・愛知) |

*平成 28 年度より競技種目の個人戦ダブルスDを追加する。

9) 試合方法②個人戦 (イ) 試合方法の追記

D. 合計年齢 140 歳以上 (各々の年齢が 70 歳以上であること)

13) 参加数の追記

| 都道府県 | チーム戦 | 個人戦 (ダブルスA) | 個人戦 (ダブルスB) | 個人戦 (ダブルスC) | 個人戦 (ダブルスD) |
|------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| A 県 | 4 | 4 | 4 | 4 | 2 |
| B 県 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| C 県 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| その他 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

第 33 回全国ホープス卓球大会

- (1) 名 称 第 33 回全国ホープス卓球大会
- (2) 期 日 平成 27 年 8 月 15 日 (土) ~17 日 (月)
- (3) 会 場 東京体育館 (JR 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅 下車 1 分)
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL: (03) 5474-2111
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 東京都卓球連盟
- (6) 後 援 (公財) 東京都体育協会、全国新聞社事業協議会 (予定)
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 ①チームはクラブ単位とし、監督 (引率者) 1 名、コーチ 1 名、選手 3~4 名で編成する。
但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。
②4 シングルス・1 ダブルス (3 番にダブルス) の 3 点先取で勝敗を決める。
③ A B C か X Y Z をトスで決め、3 名か 4 名の選手で次のオーダー順序によって試合を行う。
(3 名の場合) 1 2 3 4 5 (4 名の場合) 1 2 3 4 5
A B C チーム A B BC A C A B C チーム A B CD A C
X Y Z チーム X Y XZ Y Z X Y Z チーム X Y WZ Y Z
④4 チームによる第 1 次リーグとその 1 位・2 位チームによる決勝トーナメントを行う。
- (9) 競技日程
- | | | |
|--------------|---------|------------------------------|
| 8 月 15 日 (土) | 10:40 ~ | 監督会議 |
| | 12:30 ~ | 開会式 |
| | 13:30 ~ | 男女第 1 次リーグ |
| 16 日 (日) | 9:30 ~ | 男女第 1 次リーグと決勝トーナメント (1・2 回戦) |
| 17 日 (月) | 9:30 ~ | 決勝トーナメント (準々決勝 ~ 決勝) |
| | 14:00 ~ | 閉会式 (予定) |
- (10) 競技ルール
- ①現行の日本卓球ルールによる。
 - ②卓球台はブルーを使用する。
 - ③使用球は、J T T A 公認 プラスチック球 ; 40 mm ホワイトのみとする。
 - ④ゼッケンは平成 27 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
 - ⑤同じユニホームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
 - ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格
- ①選手・監督・コーチは平成 27 年度 (公財) 日本卓球協会に登録したものであること。選手は選手登録、監督・コーチは役員登録を出場する都道府県の出場チームにおいて登録をしていること。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
 - ②選手は平成 15 年 4 月 2 日以降に生まれたものであること。
 - ③登録の単位はクラブとし、同一クラブから複数のチームが出場できる。なお、クラブと他クラブの混成チームは認めない。
 - ④1 つのクラブの選手は全て同じ都道府県の 選手登録者 であること。また、外国籍でも日本に居住していればクラブに所属できるものとする。
 - ⑤監督 (引率者) は協会に 役員登録 されているチームの代表者で責任のもてる人であること。
 - ⑥予選会で敗れたチームのメンバーになっていた選手が、同一クラブのチームが代表となったからといって、その選手を代表チームメンバーへと変更することはできない。
- (12) 表 彰
- ①予選リーグ各ブロックの 1 位チームを表彰する。
 - ②決勝トーナメント 1~3 位 (ベスト 4) まで表彰する。

(13) 参加数 次表の通り。

| 都道府県名 | チーム数 |
|-----------------------------------|------|
| 東京（開催地）、青森、福島 | 男女各3 |
| 北海道、秋田、山形、茨城、福井、静岡、愛知、岐阜、大阪、鳥取、広島 | 〃 2 |
| その他の府県 | 〃 1 |

{参加枠算出基準} 平成26年度小学生登録者数 上位2都道府県 : 3チーム
〃 上位3~14都道府県 : 2チーム（開催地+1）
〃 その他 : 1チーム

代表チームの選出は各都道府県予選を原則とし、都道府県選抜チームは認めない。定数に満たない場合の補充は（公財）日本卓球協会が別途考慮する。開催地は男女各1チームプラスして参加できる。

(14) 参加料 1チーム 10,000円

(15) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は書留郵便又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめるものとする。）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛

TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

コピーを 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-18-5 中央第7西新宿ビル402号室

東京都卓球連盟 宛

TEL (03) 5389-2965、FAX (03) 5389-2987

(16) 申込締切 平成27年6月29日（月）

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(17) 宿泊 後日、東京都卓球連盟ホームページにて案内する。

(18) その他 ①監督会議 (イ) 日時：8月15日（土） 10:40～
(ロ) 場所：東京体育館 第1会議室

②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。

③病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。

④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑤個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

※ブロック大会については、開催ブロックに要項を一任する。

第 70 回国民体育大会（卓球競技）

（注）本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。

(1) 期日 平成 27 年 9 月 26 日（土）～30 日（水）まで（5 日間）

| 種 別 | 9月26日(土) | 9月27日(日) | 9月28日(月) | 9月29日(火) | 9月30日(水) |
|------|----------|----------|----------|-----------|----------|
| 成年男子 | 1次リーグ | 1次リーグ | 1次リーグ | 1次リーグ | 準決勝・決勝 |
| 成年女子 | 1回戦 | 1・2回戦 | 2・3回戦 | 準々決勝 | 準決勝・決勝 |
| 少年男子 | 1次リーグ | 1次リーグ | 1次リーグ | 準々決勝・準決勝 | 決 勝 |
| 少年女子 | 1次リーグ | 1次リーグ | 1次リーグ | 1次リーグ・準決勝 | 決 勝 |

(2) 会場 「白浜町立総合体育館」（成年男女） 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 29 番地 3
「白浜会館」（少年男女） 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1 番地

(3) 種別及び参加人員

| 種 別 | 監督 | 選手 | 参加都道府県 | 小計 | 合計 |
|------|----|----|--------|-----|-----|
| 成年男子 | 1 | 3 | 20 | 80 | 460 |
| 成年女子 | 1 | 3 | 47 | 188 | |
| 少年男子 | 1 | 3 | 32 | 128 | |
| 少年女子 | 1 | 3 | 16 | 64 | |

※成年男子および成年女子の監督は選手を兼ねることができる。

(4) 競技上の規定及び方法

①競技規則は、現行の日本卓球ルールによる。

②試合方法

(ア) 成年女子はトーナメント方式によって勝敗を決め、成年男子、少年男子及び少年女子は、1 次リーグ戦及び決勝トーナメント方式によって勝敗を決める。なお、1 次リーグ戦は、成年男子は 5 チーム 4 グループ、少年男子は各 4 チーム 8 グループ、少年女子は各 4 チーム 4 グループに分け、各グループ 1 位チームが決勝トーナメントに進む。

(イ) 各種別とも 3 名の選手からなる。5 シングルスで試合を行う。ただし、外国籍の選手は C 又は Z のみの出場とする。

| | | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ABC チームは | 1、A | 2、B | 3、C | 4、A | 5、B |
| XYZ チームは | 1、X | 2、Y | 3、Z | 4、Y | 5、X |

(ウ) 使用球は、(公財)日本卓球協会公認 プラスチック球：40 mm ホワイトのみとする。

(5) 予選方法

①都道府県大会

(ア) 都道府県大会は、(公財)日本卓球協会加盟の各都道府県協会が主管して実施し、期日、実施方法については当該都道府県体育協会と協議して決定する。

(イ) 期日は、7 月下旬までに終了すること。

②ブロック大会

(ア) ブロック大会を実施する種別は、成年男子、少年男子及び少年女子の 3 種別とする。成年女子は、ブロック大会を行わないで本大会に出場できる。

(イ) ブロック大会区分及び都道府県数は下表のとおりとし、当番県を定めて実施する。当番県はブロック大会の結果にプログラムを添えて実施後速やかに(公財)日本卓球協会宛連絡する。

(ウ) ブロック大会の開催地については、各ブロックに一任する。

③都道府県代表選手の選考について

都道府県大会等に参加し、これを通過した者であること。但し、事情により都道府県大会を実施できない場合、あるいは都道府県大会に参加できない場合には、下記(ア)、(イ)の選考方法が認められる。なお、やむを得ない事情により都道府県大会等を実施できない場合は、事前にその事情について(公財)日本卓球協会と協議し、了承を得ておくこと。(ここで、都道府県大会等とは、国体予選会、都道府県選手権、その他の予め指定した競技会、都道府県内ランキングなどを指す。)また、選手が都道府県大会等に参加できない場合とは具体的にどのような場合のことを指すのか事前に(公財)日本卓球協会の了承を得た上で、周知することとする。(ここで「参加できない場合」とは具体的に、全国大会出場、日本リーグ出場、学生リーグ出場、海外遠征、ナショナルチーム強化合宿参加などをいう。)

(ア) 選出基準を事前に周知徹底しておくことを条件に、どの選手をどのような手順で代表とするかについて、代表選手選考方法は都道府県に任せられる。

(イ) ブロック大会を実施する種別で、当該都道府県がブロック大会を勝ち抜いた場合、ブロック大会に実際に参加した者に代えて、本大会には他の者を参加させることができるが、この場合、その者が当該都道府県大会の同一種目に「参加」していることを条件とする。なお、ここでいう「参加」には、「当該都道府県が予め(公財)日本卓球協会に対して了承を得た選手選考方法により選出した者」の意味を含むものとする。

(ウ) トップアスリートの特例処置を別記 1 のように定める。

※予選会免除対象大会

第 28 回ユニバーシアード競技大会
2015 年世界卓球選手権大会
2015 年アジアジュニア卓球選手権大会

④ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

| ブロック名 | 都道府県名 | 成年男子 | 少年男子 | 少年女子 |
|-------|--------------------------|------|------|------|
| 北海道 | 北海道 | 1 | 1 | 1 |
| 東北 | 青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島 | 2 | 4 | 2 |
| 関東 | 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨 | 3 | 5 | 2 |
| 北信越 | 新潟・長野・富山・石川・福井 | 2 | 3 | 2 |
| 東海 | 静岡・愛知・三重・岐阜 | 2 | 3 | 1 |
| 近畿 | 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良 | 2 | 4 | 2 |
| 中国 | 鳥取・島根・岡山・広島・山口 | 2 | 3 | 2 |
| 四国 | 香川・徳島・愛媛・高知 | 2 | 3 | 1 |
| 九州 | 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄 | 3 | 5 | 2 |
| 開催地 | 和歌山 | 1 | 1 | 1 |
| | 計 | 20 | 32 | 16 |

(6) 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、下記のとおりとする。

①参加資格

(ア) 日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち次の者については、日本国籍を有しない者であっても成年又は少年の種別に参加することができる。

(1) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者

(2) 学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍する学生及び生徒。ただし、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生（主に高校生）及び家族滞在（中学 3 年生）については、大会実施要項が定める参加申込締切時に一年以上在籍していること。また、留学生（主に大学生）については、参加できない。

(3) 参加しようとする当該年以前に前号(2)の規定に該当していた者。

(イ) 各競技の選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

(ウ) 第 68 回大会又は第 69 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き第 68 回大会又は第 69 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(1) 平成 26 年度に学校教育法第 1 条に規定する学校を卒業した者

(2) 結婚及び離婚に係る者

(3) ふるさと選手制度を活用する者（成年種別）：「国民体育大会ふるさと選手制度」による。

（注）別記 2「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

(4) 一家転住に係る者（少年種別）：「一家転住等」に伴う特例措置の考え方による。

(5) JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記 2「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」による。（少年種別））

(エ) 選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

(オ) 前記のほか、選手については次のとおりとする。

(1) 参加選手は冬季大会及び本大会にそれぞれ 1 競技に限り参加できる。

(2) 回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

(3) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(4) ドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

(カ) 監督は以下の何れかを満たす者とする。また同時に、公認審判員以上の審判員資格を有していること。

(1) 日本体育協会及び日本卓球協会認定・公認卓球上級コーチ資格を有する者

(2) 日本体育協会及び日本卓球協会認定・公認卓球コーチ資格を有する者

(3) 日本体育協会及び日本卓球協会認定・公認卓球上級指導員資格を有する者

(4) 第 61 回～第 69 回大会監督経験者（ブロック大会を含む）は(1)、(2)、(3)および公認卓球指導員の何れかを有する者（第 70 回和歌山大会からは(4)は除く）なお、第 70 回大会における特例処置として、平成 27 年 10 月 1 日付認定予定者については公認資格取得者と同等の者として扱う。

②所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

<成年種別>

(ア) 居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す。）

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（国民体育大会ふるさと選手制度による）

（注）別記 2「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

※大学生の場合にあつては、居住地を示す現住所またはふるさとのいずれかを選ぶことができる。ただし、

ふるさとの場合、「国民体育大会ふるさと選手制度」による。

<少年種別>

(ア)居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す。）

(イ)学校教育法第1条に規定する学校の所在地

(ウ)勤務地

(エ)「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」（別記2）に定める小学校の所在地

※上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成27年4月30日以前から本大会終了時まで、引き続き当該地にそれぞれ居住、勤務又は通学していなければならない。但し、次の者はこの限りではない。

・<成年種別> a: 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける場合

・<少年種別> a: 「一家転住」した場合

b: 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受ける場合

c: 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける場合

③選手の年齢基準

(ア)成年種別に参加する者は、平成9年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ)少年種別に参加する者は、平成9年4月2日から平成13年4月1日までの間に生まれた者とする。

(中学3年生を含む)

④前記の各事項に疑義のあるときは、（公財）日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、（公財）日本体育協会がその可否を決定する。

(7) 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。但し、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

①競技得点

| 天皇杯対象種別 | 皇后杯対象種別 | 競技得点 |
|---------|--------------|---|
| 成年男子 | 成年女子 少年女子 | 各種別とも1位24点、 2位21点、 3位（2チーム）各16.5点、 5位（4チーム）各7.5点、の競技得点を与える |
| 成年女子 | | |
| 少年男子 | | |
| 少年女子 | | |

②参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(8) 表彰

①男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。

②男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

③各種別の第1位から第5位（4チーム）までに賞状を授与する。なお、成年女子及び少年男子の種目については、第1リーグ各グループの2位チームを5位入賞とし、成年男子及び少年女子については、準々決勝で敗退したチームを5位入賞とする。

(9) 参加申込み方法

①所定のWebページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要事項を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成27年9月2日（水）までに申込手続きを完了すること。

②締切期限以降は所定のWebページ（国民体育大会参加申込窓口）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

③参加申込選手が、不可抗力以外で無断で本大会の出場を棄権した場合は、その後の本大会出場を停止する。

④申込締切り後の変更は認めない。ただし、疾病、事故等特別の場合には、所定の文書による申し出を受け、審査のうえ決定する。申し出は、監督会議前までとし、参加申込書に記載された予備登録選手に限る。

所定の交代（変更）届の送付先は下記宛とする。

ア、〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 TEL: 03-3481-2371 FAX: 03-3481-2373

イ、〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局（和歌山県競技式典課）

TEL 073-441-2574 FAX 073-427-5377

ウ、〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1600番

紀の国わかやま国体白浜町実行委員会事務局（白浜町国体推進課内）

TEL 0739-43-5570 FAX 0739-33-9054

なお、（公財）日本体育協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

(10)その他 ①組合せ抽選会

日時 平成27年9月5日(土) 午後2時
場所 岸記念体育会館
〒150-8050 東京都渋谷区神南1丁目1番1号
TEL:03-3481-2371 FAX:03-3481-2373

②監督会議

日時 平成27年9月25日(金) 午後4時30分
場所 紀州・白浜温泉むさし
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町868番地
TEL:0739-43-0634 FAX:0739-82-2020

③表彰式

成年男女・少年男女・総合表彰式

日時 平成27年9月30日(水) 午後3時00分
場所 白浜町立総合体育館
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町29-3

成年男女5位表彰式

日時 平成27年9月29日(火) 午後7時30分
場所 白浜町立総合体育館
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町29-3

少年男女5位表彰式

日時 平成27年9月29日(火) 午後2時00分
場所 白浜会館
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1番地

別記1【トップアスリートの大会参加資格の特例処置】

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例処置」を定める。

(1)対象者

ア 大会開催の直前に開催されたオリンピック競技大会に参加した者。

イ 大会開催年の4月30日時点で、本特例の対象として認めた者。

JOCアスリートプログラム強化指定選手

国内ランキング上位10位以内

強化指定選手

*対象者につきましては今後、公益財団法人日本体育協会と調整、決定させていただきます。

(2)内容

特例の対象となる選手は、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

別記2【JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOCエリートアカデミー」に係る選手のうち、下記(1)に該当するものについては、開催基準要項細則第3項及び「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、下記(2)～(4)の特例を適用する。

(1)対象者

ア 少年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーに在籍する者

イ 成年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

(2)少年種別年齢域の選手の所属都道府県

(1)アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「(ア)居住地を示す現住所」、「(イ)学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「(ウ)勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

(3)成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

(1)イに定める成年種別年齢域の選手は、「国民体育大会ふるさと選手制度」(2)に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

(4)国内移動選手の制限に係る例外適用

(1)アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会(都道府県大会を含む)と異なる都道府県から参加する場合、開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

(注)(1)イに定める成年種別年齢域の選手については、開催基準要項細則開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

第 49 回全日本社会人卓球選手権大会

- (1) 名 称 第 49 回全日本社会人卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 27 年 10 月 10 日（土）～12 日（祝月）
- (3) 会 場 いしかわ総合スポーツセンター
JR「金沢」駅よりバス 安原もしくは済生会病院行き 約 25 分 「稚日野」下車
〒920-0355 石川県金沢市稚日野町北 222 番地
TEL：076-268-2222
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 石川県卓球連盟、金沢市卓球協会
- (6) 後 援 石川県、石川県教育委員会、（公財）石川県体育協会、金沢市、金沢市教育委員会、
金沢市体育協会、北國新聞社、
- (7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス
③男子ダブルス ④女子ダブルス
- (8) 試合方法 ①各種目ともトーナメント方式による。
②男女シングルスのみ推薦選手のうち 16 人はベスト 32 決定戦よりスーパーシードとして出場する。
（ダブルスのスーパーシードは設けない）
③男女シングルスは準々決勝より 7 ゲームマッチ、他は全て 5 ゲームマッチとする。
- (9) 競技日程 10 月 10 日（土） 9:00～ 開会式
9:30～ 男女ダブルス（1～5 回戦）
男女シングルス（1 回戦の一部）
11 日（日） 9:00～ 男女シングルス（1～5 回戦）
男女ダブルス（準決勝・決勝）
12 日（月） 9:00～ 男女シングルス（6 回戦～決勝）
15:00～ 閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はグリーンまたはブルーを使用する。
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40 mmホワイトのみとする。
④同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォームを持参すること。
⑤ゼッケンは平成 27 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 27 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場できない。
③学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍する学生及び生徒（大学院生は除く）は出場できない。ただし、勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学において夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部~~に~~在籍、または、高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものはこの限りではない。
④本年度の全日本卓球選手権大会（マスターズの部）への重複出場は禁止する。ただし、マスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルスには出場することが出来る。
⑤各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。
⑥外国籍選手は日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは、引き続き 10 年以上日本に在住している者は、男女シングルスに出場できる。ダブルス種目については出場資格制限はない。

⑦無条件参加選手（別表1参照）

◎シングルの部

- (イ) 平成26年度全日本社会人卓球選手権大会
男・女シングルスベスト16の者。
- (ロ) 平成26年度全日本卓球選手権大会（一般の部）
男・女シングルスベスト16の者。
- (ハ) クラブ委員会からの推薦者男・女各2名
平成27年度全日本クラブ選手権大会終了後に決定する。
- (ニ) 全国教職員連盟からの推薦者男・女各1名
平成27年度全国教職員大会終了後に決定する

◎ダブルスの部

- (イ) 平成26年度全日本社会人卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト8の組。
- (ロ) 平成26年度全日本卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト8の組（但し同一加盟団体の組のみ）
- (ハ) 全国教職員連盟からの推薦者男・女各1組
平成27年度全国教職員大会終了後に決定する

(12) 参加人員 表1

| 区分 | 都道府県名 | 種目 | | | |
|----|---|---------|---------|--------|--------|
| | | 男子シングルス | 女子シングルス | 男子ダブルス | 女子ダブルス |
| 1 | 石川(開催地),北海道,東京,愛知,福岡 | 10 | 10 | 5 | 5 |
| 2 | 埼玉,神奈川,静岡,京都 | 8 | 8 | 4 | 4 |
| 3 | 大阪,岡山,広島,長崎 | 6 | 6 | 3 | 3 |
| 4 | 青森,岩手,宮城,秋田,山形,福島,茨城,栃木,群馬,千葉,山梨,新潟,長野,富山,福井,三重,岐阜,滋賀,兵庫,奈良,鳥取,島根,山口,香川,徳島,愛媛,高知,佐賀,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄 | 4 | 4 | 2 | 2 |
| 5 | 和歌山 | 2 | 2 | 1 | 1 |

区分1：開催県及び平成26年度日卓協一般男女登録人員上位4加盟団体

区分2：平成26年度日卓協一般男女登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成26年度日卓協一般男女登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3・5に該当しない加盟団体

区分5：平成26年度日卓協一般男女登録人員が1位加盟団体の1割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

(13) 参加料 シングルス 1名 3,000円

ダブルス 1組 4,000円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

原本を〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

コピーを〒920-0866 石川県金沢市中央通町5-22 土室 完 気付

石川県卓球連盟 宛

TEL・FAX: (076) 261-7559

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。また申込書にその旨を明記する事。

(15) 申込締切 平成27年8月21日（金）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (17) その他
- ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
 - ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
 - ③ 開会式には原則として全員参加すること。
 - ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
 - ⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 - ⑥ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

⑦本競技大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。また、未成年者である本競技会参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規程違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合は、日本ドーピング防止規則に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

別表 1

第 48 回（平成 26 年度）全日本社会人卓球選手権大会による推薦者

| 男子シングルス | | 女子シングルス | |
|---------|--|---------|--|
| 1 | 松平 賢二 (東 京) 協和発酵キリン | 1 | 阿部 恵 (東 京) サンリツ |
| 2 | 時吉 佑一 (東 京) ZEOS | 2 | 藤井 優子 (大 阪) 日本生命 |
| 3 | 下山 隆敬 (東 京) 協和発酵キリン | 3 | 土田 美佳 (広 島) 中国電力 |
| 4 | 張 一博 (東 京) 東京アート | 4 | 宋 恵佳 (広 島) 中国電力 |
| 5 | 高木和 卓 (東 京) 東京アート | 5 | 中島未早希 (東 京) サンリツ |
| 6 | 笠原 弘光 (東 京) 協和発酵キリン | 6 | 河村 茉依 (静 岡) アスモ (株) |
| 7 | 軽部 隆介 (東 京) シチズン | 7 | 松本 優希 (大 阪) ミキハウス |
| 8 | 久保田隆三 (東 京) シチズン | 8 | 松平 志穂 (大 阪) ミキハウス |
| | 濱口 元樹 (広 島) 原田鋼業 | | 伊藤みどり (岐 阜) 十六銀行 |
| | 大矢 英俊 (東 京) 東京アート | | 天野 優 (東 京) サンリツ |
| ベ | 御内健太郎 (東 京) シチズン | ベ | 福岡 春菜 (広 島) 中国電力 |
| ス | 松生 直明 (東 京) リコー | ス | 根本 理世 (岐 阜) 十六銀行 |
| ト | 足立 智哉 (和歌山) 日鉄住金物流 | ト | 田村 望 (北海道) J R 北海道 |
| 16 | 横山 輝 (広 島) 原田鋼業 | 16 | 狭間のぞみ (岐 阜) 十六銀行 |
| | 瀬山 辰男 (東 京) リコー | | 大森 玲奈 (岐 阜) 十六銀行 |
| | 濱川 明史 (和歌山) 日鉄住金物流 | | 原 ちひろ (静 岡) アスモ (株) |
| 男子ダブルス | | 女子ダブルス | |
| 1 | { 張 一博 (東 京) 東京アート 高木和 卓 (東 京) 東京アート | 1 | { 天野 優 (東 京) サンリツ 中島未早希 (東 京) サンリツ |
| 2 | { 水野 裕哉 (東 京) 東京アート 大矢 英俊 (東 京) 東京アート | 2 | { 玉石 美幸 (三 重) エクセディ 中尾 優子 (三 重) エクセディ |
| 3 | { 岸川 聖也 (千 葉) ファースト 浅沼 慎也 (千 葉) ファースト | 3 | { 中川 博子 (広 島) 中国電力 土田 美佳 (広 島) 中国電力 |
| 4 | { 笠原 弘光 (東 京) 協和発酵キリン 森本 耕平 (東 京) 協和発酵キリン | 4 | { 平 侑里香 (東 京) サンリツ 山梨 有理 (東 京) ミズノ |
| 5 | { 田中 満雄 (東 京) シチズン 久保田隆三 (東 京) シチズン | 5 | { 原 ちひろ (静 岡) アスモ (株) 松村 夏海 (静 岡) アスモ (株) |
| 6 | { 櫻田 健 (愛 知) トヨタ自動車 浅野 一平 (愛 知) トヨタ自動車 | 6 | { 大庭咲陽子 (広 島) 広島日野自動車 松本 郁 (広 島) 広島日野自動車 |
| 7 | { 御内健太郎 (東 京) シチズン 加藤 悠二 (東 京) シチズン | 7 | { 原田 智美 (東 京) 東芝メテオシステムズ (株) 飛永 亜希 (東 京) 東芝メテオシステムズ (株) |
| 8 | { 藤田 雄輔 (和歌山) 日鉄住金物流 藤本 海統 (和歌山) 日鉄住金物流 | 8 | { 池田 好美 (茨 城) 日立化成 馬 克 (茨 城) 日立化成 |

平成 26 年度全日本卓球選手権大会ツキソグによる推薦者

| 男子シングルス | | | | 女子シングルス | | | |
|---------|-------|-------|------------------------|---------|--------|-------|-----------------|
| 1 | 水谷 隼 | (東京) | beacon. LAB | 1 | 石川 佳純 | (山口) | 全農 |
| 2 | 神 巧也 | (東京) | 明治大学 | 2 | 森蘭 美咲 | (茨城) | 日立化成 |
| 3 | 丹羽 孝希 | (東京) | 明治大学 | 3 | 前田 美優 | (福岡) | 希望が丘高校 |
| 4 | 岸川 聖也 | (千葉) | ファースト | 4 | 石垣 優香 | (大阪) | 日本生命 |
| 5 | 松平 健太 | (東京) | JTB | 5 | 松平 志穂 | (大阪) | ミキハウス |
| 6 | 吉村 真晴 | (愛知) | 愛知工業大学 | 6 | 佐藤 瞳 | (北海道) | 札幌大谷高校 |
| 7 | 吉田 海偉 | (埼玉) | Global Athlete Project | 7 | 平野 美宇 | (東京) | JOCエリートアカデミー |
| 8 | 吉田 雅己 | (愛知) | 愛知工業大学 | 8 | 伊藤 美誠 | (大阪) | スターツSC |
| 9 | 大島 祐哉 | (東京) | 早稲田大学 | 9 | 松澤 茉里奈 | (茨城) | 日立化成 |
| 10 | 松平 賢二 | (東京) | 協和発酵キリン | 10 | 田代 早紀 | (大阪) | 日本生命 |
| 11 | 上田 仁 | (東京) | 協和発酵キリン | 11 | 山本 怜 | (東京) | 中央大学 |
| 12 | 藤本 海統 | (和歌山) | 日鉄住金物流 | 12 | 加藤 美優 | (東京) | JOCエリートアカデミー |
| 13 | 塩野 真人 | (東京) | 東京アート | 13 | 松本 優希 | (大阪) | ミキハウス |
| 14 | 軽部 隆介 | (東京) | シチズン | 14 | 酒井 春香 | (大阪) | ミキハウス |
| 15 | 森蘭 政崇 | (東京) | 明治大学 | 15 | 若宮 三紗子 | (大阪) | 日本生命 |
| 16 | 森本 耕平 | (東京) | 協和発酵キリン | 16 | 牛嶋 星羅 | (埼玉) | 正智深谷高校 |
| 男子ダブルス | | | | 女子ダブルス | | | |
| 1 | 森蘭 政崇 | (東京) | 明治大学 | 1 | 平野 早矢香 | (大阪) | ミキハウス |
| | 三部 航平 | (青森) | 青森山田高校 | | 石川 佳純 | (山口) | 全農 |
| 2 | 岸川 聖也 | (千葉) | ファースト | 2 | 阿部 愛莉 | (大阪) | 四天王寺高校 |
| | 水谷 隼 | (東京) | beacon. LAB | | 森蘭 美月 | (大阪) | 四天王寺高校 |
| 3 | 吉村 和弘 | (山口) | 野田学園高校 | 3 | 中村 薫子 | (茨城) | 日立化成 |
| | 平野 晃生 | (山口) | 野田学園高校 | | 市川 梓 | (茨城) | 日立化成 |
| 4 | 張 一博 | (東京) | 東京アート | 4 | 田代 早紀 | (大阪) | 日本生命 |
| | 高木和卓 | (東京) | 東京アート | | 藤井 優子 | (大阪) | 日本生命 |
| 5 | 加藤 由行 | (愛知) | 愛知工業大学 | 5 | 土井みなみ | (広島) | 中国電力 |
| | 吉田 雅己 | (愛知) | 愛知工業大学 | | 宋 恵佳 | (広島) | 中国電力 |
| 6 | 森田 侑樹 | (東京) | シチズン | 6 | 土田 美紀 | (広島) | 中国電力 |
| | 軽部 隆介 | (東京) | シチズン | | 三宅 菜津美 | (広島) | 中国電力 |
| 7 | 吉村 真晴 | (愛知) | 愛知工業大学 | 7 | 石川 梨良 | (東京) | JOCエリートアカデミー/帝京 |
| | 藤村 友也 | (愛知) | 愛知工業大学 | | 加藤 美優 | (東京) | JOCエリートアカデミー |
| 8 | 松平 賢二 | (東京) | 協和発酵キリン | 8 | 中川 博子 | (広島) | 中国電力 |
| | 上田 仁 | (東京) | 協和発酵キリン | | 土田 美佳 | (広島) | 中国電力 |

クラブ委員会推薦

| 男子シングルス | 女子シングルス |
|---------|---------|
| 1 () | 1 () |
| 2 () | 2 () |

全国教職員連盟推薦

| 男子シングルス | 女子シングルス |
|---------|---------|
| 1 () | 1 () |
| 男子ダブルス | 女子ダブルス |
| 1 { () | 1 { () |
| () | () |

注 1) 段級制規程要約

段位取得について (平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部)
 ③全日本選手権大会(一般・ジュニア) ④全日本選手権大会(団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権(マスターズの部)の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

| 段位取得規程要約(平成元年以降) | |
|-----------------------------------|-----|
| (ア) 初出場者 | 初段 |
| (イ) 同一大会 3 回目出場者 | 2 段 |
| (ウ) 同一大会 5 回目出場者 | 3 段 |
| (エ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト 16 入り経験者 | 4 段 |
| (オ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト 4 入賞経験者 | 5 段 |
| (カ) 上記①及び③大会(一般)単または複の優勝者 | 6 段 |

平成 27 年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部）

- (1) 名称 平成 27 年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部）
(2) 期日 平成 27 年 10 月 23 日（金）～25 日（日）
(3) 会場 キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター
JR「徳山」駅 バス 15 分 「6-0 緑ヶ丘じゅんかん」に乗車「緑ヶ丘運動公園」下車
山陽自動車道 徳山東 IC で下り、国道 2 号線を周南市街方面へ約 3 分 左折間もなく
〒745-0851 山口県周南市大字徳山 427
TEL：0834-28-8311 FAX：0834-28-8313
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主管 山口県卓球協会、周南市卓球協会
(6) 後援 山口県、山口県教育委員会、（公財）山口県体育協会、周南市、周南市教育委員会、
（公財）周南市体育協会、NHK 山口放送局、KRT テレビ、中国新聞社、シティーケーブル（周南）
- (7) 競技種目
- | | | | |
|-------------|----------|-------------|----------|
| ①男子サーティ | (30 歳以上) | ②女子サーティ | (30 歳以上) |
| ③男子フォーティ | (40 歳以上) | ④女子フォーティ | (40 歳以上) |
| ⑤男子フィフティ | (50 歳以上) | ⑥女子フィフティ | (50 歳以上) |
| ⑦男子ローシックスティ | (60 歳以上) | ⑧女子ローシックスティ | (60 歳以上) |
| ⑨男子ハイシックスティ | (65 歳以上) | ⑩女子ハイシックスティ | (65 歳以上) |
| ⑪男子ローセブenty | (70 歳以上) | ⑫女子ローセブenty | (70 歳以上) |
| ⑬男子ハイセブenty | (75 歳以上) | ⑭女子ハイセブenty | (75 歳以上) |
| ⑮男子ローエイティ | (80 歳以上) | ⑯女子ローエイティ | (80 歳以上) |
| ⑰男子ハイエイティ | (85 歳以上) | ⑱女子ハイエイティ | (85 歳以上) |
- (8) 試合方法 各種目ともすべて 11 本 5 ゲームマッチとし、第 1 ステージは 3～4 名によるリーグ戦、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位の者によるトーナメント方式とする。
前年度ランキング選手であっても、第 1 ステージ・リーグ戦から出場するものとする。
- (9) 競技日程
- | | | |
|---------|--------------|--|
| 開会式 | 10 月 23 日（金） | 9:00～ |
| (予定) 競技 | 23 日（金） | 60 代、65 代、70 代、75 代、80 代、85 代 |
| | 24 日（土） | 30 代、40 代、50 代、60 代、65 代、70 代、75 代、80 代、85 代 |
| | 25 日（日） | 30 代、40 代、50 代 決勝まで |
| | 閉会式 | 25 日（日） |

※競技日程はあくまでも予定ですので組合せ決定後変更になる場合があります。

- (10) 競技ルール
- ①現行の日本卓球ルールによる。
 - ②粒高、アンチ（系）ラバーの使用制限はない。
 - ③卓球台はブルーを使用する。
 - ④使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40mm ホワイトのみとする。
 - ⑤同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォームを持参すること。
 - ⑥ゼッケンは平成 27 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
 - ⑦ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格
- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 27 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。但し、70 歳以上の種目に出場する者は有段者でなければならないが、その段位は問わない。
 - ②年齢は、平成 28 年 4 月 1 日迄に当該年齢に達している者である事。
(イ)サーティ (30 歳以上) 昭和 61 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ロ)フォーティ (40 歳以上) 昭和 51 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ハ)フィフティ (50 歳以上) 昭和 41 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ニ)ローシックスティ (60 歳以上) 昭和 31 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ホ)ハイシックスティ (65 歳以上) 昭和 26 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ヘ)ローセブenty (70 歳以上) 昭和 21 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ト)ハイセブenty (75 歳以上) 昭和 16 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(チ)ローエイティ (80 歳以上) 昭和 11 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(リ)ハイエイティ (85 歳以上) 昭和 6 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 - ③全日本社会人卓球選手権大会出場者の本大会への重複出場は禁止する。但し、ダブルスのみ全日本社会人選手権大会への重複出場を認める。
 - ④各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。
 - ⑤外国籍選手は出場できない。但し、日本で出生し、引続き 3 年以上日本に在住している者、または引続き日本に 10 年以上在住している者はこの限りではない。
 - ⑥各シングルス種目への参加は一人一種目とする。
 - ⑦無条件参加選手（別表参照）
平成 26 年度全日本社会人卓球選手権大会の男女シングルスベスト 16 の者で満 30 歳に達した者および年齢別種目のランキング保持者は当該年齢種目または下の年代の種目の 1 つに出場できるものとする。

(12) 参加人員：

| 区分 | 種目 都道府県名 | 男子サーティ | 女子サーティ | 男子フォーティ | 女子フォーティ | 男子フィフティ | 女子フィフティ | 男子ローシックスティ | 女子ローシックスティ | 男子ハイシックスティ | 女子ハイシックスティ | 男子ローセブenty | 女子ローセブenty | 男子ハイセブenty | 女子ハイセブenty | 男子ローエイティ | 女子ローエイティ | 男子ハイエイティ | 女子ハイエイティ |
|----|---|--------|----------------------|---------|---------|---------|---------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------|----------|----------|----------|
| | | 1 | 山口（開催地）、北海道、東京、愛知、福岡 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 無制限 | |
| 2 | 埼玉、神奈川、静岡、京都 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | | | | |
| 3 | 大阪、岡山、広島、長崎 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | | | | | |
| 4 | 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、新潟、長野、富山、石川、福井、三重、岐阜、滋賀、兵庫、奈良、鳥取、島根、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | | |
| 5 | 和歌山 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | |

区分1：開催県及び平成26年度日卓協一般男女登録人員上位4加盟団体

区分2：平成26年度日卓協一般男女登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成26年度日卓協一般男女登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3・5に該当しない加盟団体

区分5：平成26年度日卓協一般男女登録人員が1位加盟団体の1割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

※上記の無条件参加資格をもつ選手が、本大会の都道府県予選会に申し込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものと取り扱う。

(13) 参加料 1名 3,000円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛

TEL：(03)3481-2371、FAX：(03)3481-2373

コピーを 〒753-0212 山口県山口市下小鯖1171-54 岩本隆司 気付
山口県卓球協会 宛

TEL・FAX：(083)927-0865

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。

(15) 申込締切 平成27年9月10日（木）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) そ の 他

- ①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
- ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
- ③開会式には原則として全員参加すること。
- ④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に行うことが望ましいです。
- ⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。
- ⑦当該年度に100歳に達した選手を特別表彰する。

【別表1】平成26年度全日本選手権大会（マスターズの部）ランキング

| 男子サーティ | | | | 女子サーティ | | | |
|------------|-------|-------|------------|------------|-------|-------|----------------|
| 1 | 田中 雄仁 | (兵庫) | 育英高校職員 | 1 | 安部 香織 | (大阪) | 長吉卓球センター |
| 2 | 三田村宗明 | (神奈川) | リトルキングス | 2 | 草川 則子 | (京都) | 翠嵐クラブ |
| 3 | 島畑 和則 | (愛知) | (株)三五 | 3 | 石井和佳子 | (埼玉) | さくらんぼ |
| 4 | 中川 利幸 | (京都) | 壺球倶楽部 | 4 | 徳田 明子 | (愛媛) | 伊予つばさ |
| 5 | 原 渉 | (東京) | 大花火 | 5 | 山口 弘美 | (埼玉) | 所沢レディース |
| 6 | 藤本三千郎 | (千葉) | 木更津クラブ | 6 | 備後 美香 | (愛知) | サクセス |
| 7 | 中野 賢司 | (長野) | 長野松代総合病院 | 7 | 石田亜沙美 | (愛知) | A h s h. T T C |
| 8 | 笹木 直人 | (岐阜) | TENRYU | 8 | 広島 亜紀 | (大阪) | 福井クラブ |
| 男子フォーティ | | | | 女子フォーティ | | | |
| 1 | 西村 雅裕 | (静岡) | FEVER | 1 | 佐原 有美 | (愛知) | 圓クラブ |
| 2 | 西川 幸伸 | (神奈川) | FAMILY | 2 | 島村 美恵 | (神奈川) | MD相模 |
| 3 | 渡部 将史 | (沖縄) | 琉球アスティータ | 3 | 山下 陽子 | (東京) | 美鷹クラブJOY |
| 4 | 中村 宏 | (千葉) | 卓修会 | 4 | 山崎 玲奈 | (青森) | 青森レディース |
| 5 | 重川 仁義 | (広島) | MAZDA | 5 | 加藤 美代 | (東京) | 飛鳥クラブ |
| 6 | 枝広 一志 | (岡山) | 関西クラブ | 6 | 石井 佳子 | (神奈川) | チャイム |
| 7 | 北井 守 | (石川) | 档の会 | 7 | 小林 眞紀 | (愛知) | 圓クラブ |
| 8 | 谷崎 明彦 | (東京) | 卓精会 | 8 | 小野 千代 | (東京) | 卓精会 |
| 男子フィフティ | | | | 女子フィフティ | | | |
| 1 | 山鹿 泰史 | (長崎) | オール長大 | 1 | 稲川 佳代 | (東京) | COLOR |
| 2 | 岩野 健 | (大阪) | 大阪ナイトクラブ | 2 | 大津絵美子 | (香川) | 丸亀SC |
| 3 | 平井 荘一 | (沖縄) | JT沖縄 | 3 | 高木和恵子 | (東京) | 千代田クラブ |
| 4 | 花木 友明 | (沖縄) | 琉球卓球クラブ | 4 | 大嶋 由美 | (大阪) | 八尾ひまわり |
| 5 | 松尾 真 | (京都) | 小倉TRK | 5 | 南澤 重子 | (長野) | 須坂卓翔会 |
| 6 | 東 龍太郎 | (徳島) | 名西クラブ | 6 | 山内 博美 | (愛知) | サクセス |
| 7 | 天津 兼重 | (福岡) | 福岡卓球クラブ | 7 | 坂本 久美 | (神奈川) | COLOR |
| 8 | 今西 雅昭 | (京都) | 都クラブ | 8 | 吉野 法子 | (福岡) | ソレイユ北九州 |
| 男子ローシックスティ | | | | 女子ローシックスティ | | | |
| 1 | 政本 尚 | (奈良) | 清友クラブ | 1 | 日下部鈴子 | (神奈川) | チャイム |
| 2 | 岩本 隆司 | (山口) | しおん | 2 | 有田 廣美 | (大阪) | 竹の子枚方クラブ |
| 3 | 中村孝太郎 | (神奈川) | テニシャス・ナカーズ | 3 | 井置 節子 | (神奈川) | 藤澤レディース |
| 4 | 新田 康博 | (千葉) | 千葉クラブ | 4 | 木佐 玲子 | (京都) | 宇治クラブ |
| 5 | 山崎 正樹 | (東京) | 友卓会 | 5 | 竹内 春美 | (愛知) | つくしクラブ |
| 6 | 広浜 泰久 | (東京) | 神馬クラブ | 6 | 横山祐見子 | (高知) | ピンポン館 |
| 7 | 甚野 道雄 | (福島) | 県北卓友会 | 7 | 峯村 祐子 | (長野) | 卓愛会 |
| 8 | 横田 貞義 | (山口) | スリースター | 8 | 吉垣 美保 | (神奈川) | 浜卓会 |
| 男子ハイシックスティ | | | | 女子ハイシックスティ | | | |
| 1 | 吉田 雄三 | (高知) | ヨシダスポーツ | 1 | 持田 恵子 | (愛知) | サクセス |
| 2 | 富金原 修 | (東京) | チームDREAM | 2 | 太田 裕子 | (東京) | つばさクラブ |
| 3 | 渡辺 元和 | (埼玉) | 卓伸会 | 3 | 水口美穂子 | (東京) | 武蔵野クラブ |
| 4 | 古川 敏明 | (千葉) | サザンクロス | 4 | 関根 芳子 | (千葉) | 市川市レディス |
| 5 | 宮本 俊秀 | (福岡) | 無名会 | 5 | 高橋 邦子 | (千葉) | 千代田クラブ |
| 6 | 栗原 修 | (神奈川) | FAMILY | 6 | 板谷 典子 | (大阪) | HPC |
| 7 | 五十嵐一郎 | (千葉) | コスモスポーツクラブ | 7 | 小野原明子 | (埼玉) | 駒場クラブ |
| 8 | 井津 雅治 | (東京) | 友卓会 | 8 | 平賀須美子 | (神奈川) | 浜卓会 |
| 男子ローセブンティ | | | | 女子ローセブンティ | | | |
| 1 | 鈴木 和久 | (神奈川) | 逗子クラブ | 1 | 大掛まさ美 | (東京) | イーグルス |
| 2 | 富岡 成一 | (東京) | 西東京クラブ | 2 | 長澤 征代 | (東京) | 武蔵野クラブ |
| 3 | 奥田 昭和 | (千葉) | 代々木クラブ | 3 | 大倉 勝子 | (東京) | ウエルネス |
| 4 | 原田 武 | (広島) | ヒロタクススポーツ | 4 | 福島 正子 | (埼玉) | 所沢レディース |
| 5 | 小浜 豊喜 | (兵庫) | 小浜クラブ | 5 | 柴田 紀子 | (東京) | サザンスターズ |
| 6 | 武山 嘉成 | (東京) | ブルーグリーン | 6 | 山本 栄子 | (京都) | 宇治クラブ |
| 7 | 吉田 武 | (東京) | 東京ベテラン | 7 | 新谷美恵子 | (大阪) | こあらーず |
| 8 | 木村 論 | (新潟) | 新潟如水会 | 8 | 堀木 雪子 | (千葉) | 市川市レディス |

| 男子ハイセブンティ | | | | 女子ハイセブンティ | | | |
|-----------|-------|-------|-----------|-----------|-------|-------|-----------|
| 1 | 黒田 幸彦 | (宮 城) | 仙台萩クラブ | 1 | 池田 章子 | (大 阪) | 翡翠 |
| 2 | 赤池 貞臣 | (宮 城) | 角田クラブ | 2 | 林 明美 | (大 阪) | 大阪卓球ベテラン会 |
| 3 | 渡辺一治郎 | (新 潟) | 川西クラブ | 3 | 土屋 慶子 | (東 京) | 卓美会 |
| 4 | 佐藤 至宏 | (千 葉) | サザンクロス | 4 | 河路 悦子 | (愛 知) | A F クラブ |
| 5 | 内田 薫雄 | (兵 庫) | まるくらぶ | 5 | 太田 昭子 | (石 川) | 大宗クラブ |
| 6 | 安部 實 | (大 阪) | 悠遊会 | 6 | 長瀬ちづ子 | (愛 知) | 明誠クラブ |
| 7 | 前川 紘一 | (神奈川) | 逗子クラブ | 7 | 西村美貴子 | (千 葉) | かりん |
| 8 | 内山 雅史 | (長 野) | 川中島クラブ | 8 | 市川 輝子 | (埼 玉) | 浦和婦人卓球クラブ |
| 男子ローエイティ | | | | 女子ローエイティ | | | |
| 1 | 唐橋 博 | (東 京) | 代々木クラブ | 1 | 崔 花子 | (東 京) | 練馬茜 |
| 2 | 秋田 勝 | (大 阪) | 浜寺クラブ | 2 | 関谷 聡子 | (香 川) | 卓窓会 |
| 3 | 小野塚章司 | (千 葉) | VEGA CLUB | 3 | 山崎季久子 | (神奈川) | 南友会 |
| 4 | 小林 昇 | (岡 山) | 総社カルチャー | 4 | 池田 和子 | (兵 庫) | 川西グリーン |
| 5 | 池内 祥治 | (熊 本) | SEIZANクラブ | 5 | 小谷 満子 | (広 島) | OMC |
| 6 | 増田 和雄 | (新 潟) | 柴田クラブ | 6 | 三宅 裕子 | (神奈川) | 衣笠卓球 |
| 7 | 神崎 榮蔵 | (宮 城) | 栞江卓球同好会 | 7 | 土佐 昭子 | (神奈川) | 浜卓会 |
| 8 | 月崎 昇 | (宮 城) | 仙台ベテラン会 | 8 | 谷川多美子 | (滋 賀) | あすなろクラブ |
| 男子ハイエイティ | | | | 女子ハイエイティ | | | |
| 1 | 永井 昭爾 | (神奈川) | 川崎ラージ | 1 | 井上 幸子 | (滋 賀) | 八日市クラブ |
| 2 | 吉田 昭夫 | (新 潟) | 謙信上越 | 2 | 河村美千子 | (神奈川) | 藤澤レディース |
| 3 | 渡瀬一三生 | (静 岡) | 浜松ベテラン会 | 3 | 千葉八重子 | (千 葉) | サムディ松戸 |
| 4 | 福見 章 | (北海道) | 大麻クラブ | 4 | 富樫 啓子 | (東 京) | 千代田クラブ |
| 5 | 坂田喜三郎 | (福 岡) | 安永卓球クラブ | 5 | 梅林 千勢 | (兵 庫) | 兵庫ベテラン会 |
| 6 | 三浦 明 | (宮 城) | 萩クラブ | 6 | 米口まつゑ | (兵 庫) | 伊卓連 |
| 7 | 岸田 義和 | (京 都) | 個人 | | | | |

平成 26 年度 全日本社会人卓球選手権大会 男女ベスト 16
(30 歳以上の者が対象:昭和 60 年 4 月 1 日以前に生まれた者)

| 男子シングルス | | | | 女子シングルス | | | |
|---------|-------|-------|---------|---------|-------|-------|---------|
| 1 | 松平 賢二 | (東 京) | 協和発酵キリン | 1 | 阿部 恵 | (東 京) | サンリツ |
| 2 | 時吉 佑一 | (東 京) | Z E O S | 2 | 藤井 優子 | (大 阪) | 日本生命 |
| 3 | 下山 隆敬 | (東 京) | 協和発酵キリン | 3 | 土田 美佳 | (広 島) | 中国電力 |
| 4 | 張 一博 | (東 京) | 東京アート | 4 | 宋 恵佳 | (広 島) | 中国電力 |
| 5 | 高木和 卓 | (東 京) | 東京アート | 5 | 中島未早希 | (東 京) | サンリツ |
| 6 | 笠原 弘光 | (東 京) | 協和発酵キリン | 6 | 河村 茉依 | (静 岡) | アスモ (株) |
| 7 | 軽部 隆介 | (東 京) | シチズン | 7 | 松本 優希 | (大 阪) | ミキハウス |
| 8 | 久保田隆三 | (東 京) | シチズン | 8 | 松平 志穂 | (大 阪) | ミキハウス |
| | 濱口 元樹 | (広 島) | 原田鋼業 | | 伊藤みどり | (岐 阜) | 十六銀行 |
| | 大矢 英俊 | (東 京) | 東京アート | | 天野 優 | (東 京) | サンリツ |
| バ | 御内健太郎 | (東 京) | シチズン | バ | 福岡 春菜 | (広 島) | 中国電力 |
| ス | 松生 直明 | (東 京) | リコー | ス | 根本 理世 | (岐 阜) | 十六銀行 |
| ト | 足立 智哉 | (和歌山) | 日鉄住金物流 | ト | 田村 望 | (北海道) | J R北海道 |
| 16 | 横山 輝 | (広 島) | 原田鋼業 | 16 | 狭間のぞみ | (岐 阜) | 十六銀行 |
| | 瀬山 辰男 | (東 京) | リコー | | 大森 玲奈 | (岐 阜) | 十六銀行 |
| | 濱川 明史 | (和歌山) | 日鉄住金物流 | | 原 ちひろ | (静 岡) | アスモ (株) |

※全日本社会人選手権大会に出場する場合は、マスターズの部には出場できない。また、マスターズの部に出場する場合は、全日本社会人選手権大会には出場できない。

注 1) 段級制規程要約

段位取得について (平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会 (マスターズの部)
③全日本選手権大会 (一般・ジュニア) ④全日本選手権大会 (団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権 (マスターズの部) の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

| 段位取得規程要約 (平成元年以降) | |
|-----------------------------------|-----|
| (ア) 初出場者 | 初段 |
| (イ) 同一大会3回目出場者 | 2 段 |
| (ウ) 同一大会5回目出場者 | 3 段 |
| (エ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト16入り経験者 | 4 段 |
| (オ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト4入賞経験者 | 5 段 |
| (カ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複の優勝者 | 6 段 |

JOCジュニアオリンピックカップ2015
平成27年度全日本卓球選手権大会(カデットの部)

- (1) 名称 JOCジュニアオリンピックカップ2015 平成27年度全日本卓球選手権大会(カデットの部)
- (2) 期日 平成27年11月21日(土)～23日(月・祝)
- (3) 会場 春野総合運動公園体育館(JR高知駅より、とさでん交道路面電車「はりまや橋」駅下車
 とさでん交通バス「南はりまや橋」より横浜経由高岡(営業所)行 春野運動公園前下車)
 〒781-0311 高知県高知市春野町芳原 2485
 TEL:088-841-3105 FAX:088-841-3107
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主管 高知県卓球協会
- (6) 後援 (公財)日本オリンピック委員会[JOC]、高知県教育委員会、(公財)高知県体育協会、
 高知県中学校体育連盟、高知市、高知市教育委員会、高知市中学校体育連盟、高知新聞社
- (7) 競技種目
 ①13歳(中学1年生)以下男子シングルス
 ②13歳(中学1年生)以下女子シングルス
 ③14歳(中学2年生)以下男子シングルス
 ④14歳(中学2年生)以下女子シングルス
 ⑤男子ダブルス
 ⑥女子ダブルス
- (8) 試合方法 全試合、11本、5ゲームマッチのトーナメント方式で行う。
- (9) 競技日程
- | | | | |
|-----------|--------|---------|-----------|
| 11月21日(土) | 10:30～ | 開会式 | |
| | 12:00～ | 男女ダブルス | 1回戦～4回戦まで |
| | | 男女シングルス | 1回戦 |
| 22日(日) | 9:00～ | 男女ダブルス | 5回戦～決勝まで |
| | | 男女シングルス | 1～3・4回戦 |
| 23日(月) | 9:00～ | 男女シングルス | 決勝まで |
| | 13:00～ | 閉会式 | |
- (10) 競技ルール
 ①現行の日本卓球ルールによる。
 ②テーブルはグリーン又はブルーを使用する。
 ③使用球は、JTTA公認プラスチック球；40mm ホワイトのみとする。
 ④ゼッケンは平成27年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
 ⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2種類以上のユニホームを持参すること。
 ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格
 ①参加者は平成27年度(公財)日本卓球協会選手登録したものであること。
 ②13歳以下の部は中学1年生以下で平成14年4月2日以降生まれたものであること。
 14歳以下の部は中学2年生以下で平成13年4月2日以降生まれたものであること。
 該当年齢より下のものも予選会に出場し代表権を得れば出場できるが、シングルスは13歳以下または、14歳以下どちらか1種目に限る。
 ダブルスは同一都道府県で平成13年4月2日以降生まれたものであれば誰れとでも組むことができる。
 ③選手は登録されている当該都道府県より、各都道府県卓球協会(連盟)主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
 ④次に該当するものは割当人数以外に予選会を経ないで、()内の種目に参加することができる。
 (ア)平成26年度全日本カデットのランキング保持者または平成27年度全国中学校卓球大会ランキング保持者で現在2年生の者。(14歳以下の部に)
 (イ)平成26年度全日本カデットのランキング保持者または平成27年度全国中学校卓球大会のランキング保持者で現在1年生以下の者。
 (13歳以下または14歳以下の部に)
 (ウ)平成26、27年度全日本ホープスランキング保持者で現在中学1年生以下の者。
 (13歳以下の部に)
 (エ)平成26年度ダブルスランキングを保持している組で現在中学2年生以下の組。
 (ダブルスに)
 (オ)ナショナルチーム(ジュニア、ホープス含む)に所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。また、強化本部の要請などにより(公財)日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。
 ※カブランキングの選手は対象にならない。又、ジュニアナショナルチームに所属する選手が国際試合、海外遠征等で予選会に出場できない場合は、(公財)日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。ただし、これらの選手も必ず都道府県卓球協会(連盟)を通じて申し込むこと。

※④(ウ)の変更(平成28年度より変更)

当該年度の全日本ホープスランキング保持者で現在中学1年生以下の者。(13歳以下の部に)

(12) 参加数 ①下表のとおり

| 13歳以下及び14歳以下シングルス男女各 | | ダブルス男女各 | |
|--|----|---|----|
| 都道府県名 | 人数 | 都道府県名 | 組数 |
| 高知（開催地）、神奈川、静岡 | 7名 | 高知（開催地）、神奈川、静岡 | 6組 |
| 北海道、千葉、兵庫 | 6名 | 北海道、茨城、千葉、兵庫 | 5組 |
| 福島、茨城 | 5名 | 福島、新潟 | 4組 |
| 栃木、埼玉、新潟、愛知、岐阜 | 4名 | 栃木、群馬、埼玉、東京、長野、愛知、岐阜 | 3組 |
| 宮城、群馬、東京、長野、大阪、山口、福岡 | 3名 | 青森、岩手、宮城、秋田、山形、石川、三重、京都、大阪、岡山、山口、徳島、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島 | 2組 |
| 青森、岩手、秋田、山形、山梨、富山、石川、福井、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、香川、徳島、愛媛、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄 | 2名 | 山梨、富山、福井、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、島根、広島、香川、宮崎、沖縄 | 1組 |

②特別推薦枠 前記の人数以外に各都道府県に競技種目①～④のうちいずれか1種目に限り1名の推薦枠を設ける。但し、ペンホルダー選手※に限る。なお、申込書備考欄に「特別枠」と明記すること。

※特別推薦枠の対象となるペンホルダー選手について

- 1) 予選大会でシェークハンドであった選手をペンホルダーに変えて推薦するようなことは認められない。
- 2) 裏ソフトラバーまたは表ソフトラバーを主戦としたスタイルとし、フォアハンドつぶ高、アンチ主戦の選手は避けること。但し、つぶ高、アンチラバーを裏面に貼り、補助的ないし戦術的に利用する場合は問題ないものとする。

③ランキングによる加算：平成26年度本大会の各種目のランキング8名（組）の内に2名（組）以上のランキング者（組）を持つ加盟団体（別紙ランキング表に赤字で表示）は、当該種目に限り2名（組）につき1名（組）追加して申し込むことができる。申込書備考欄に「加算枠」と明記すること。但し、エリートアカデミー所属のランキング者（組）は対象としない。

(13) 参加料 シングルス 1人 3,000円
ダブルス 1組 4,000円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は書留郵便又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

コピーを 〒780-0043 高知県高知市寿町7-6

高知県卓球協会 宛

TEL/FAX：(088) 872-5669

(15) 申込締切 平成27年10月5日（月）必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
旅行代理店 名鉄観光 高知支店：担当 錦村 TEL：088-873-5888 FAX：088-825-3661

(17) その他 ①一旦申し込まれた選手の締切後の変更は原則として認めない。
②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
③病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
⑤個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

平成 26 年度全日本卓球選手権大会（カデットの部）ランキング

| 13歳以下男子シングルス | | | | 13歳以下女子シングルス | | | |
|--------------|-------|-------|--------------|--------------|--------|-------|-------------|
| 1 | 張本 智和 | (宮城) | 仙台ジュニアクラブ | 1 | 皆川 優香 | (大阪) | 昇陽中学校 |
| 2 | 柏 竹琉 | (東京) | JOCエリートアカデミー | 2 | 長崎 美柚 | (神奈川) | 岸田クラブ |
| 3 | 寺下 拓海 | (福井) | 武生第二中学校 | 3 | 三村 梨奈 | (高知) | 明德義塾中学校 |
| 4 | 小林 広夢 | (東京) | ワイワイ卓球 | 4 | 出雲 美空 | (大阪) | ミキハウスJSC |
| 5 | 加山 裕 | (東京) | JOCエリートアカデミー | 5 | 谷渡 亜美 | (岐阜) | 登龍中学校 |
| 6 | 内田 柁平 | (東京) | 秋川クラブ | 6 | 河野 風紗 | (山口) | 玖珂中学校 |
| 7 | 戸上 隼輔 | (三重) | 松生TTC | 7 | 出澤 杏佳 | (茨城) | 日立大沼卓球 |
| 8 | 白山 遼 | (東京) | 羽佳卓球倶楽部 | 8 | 三浦千緋呂 | (大阪) | ミキハウスJSC |
| 14歳以下男子シングルス | | | | 14歳以下女子シングルス | | | |
| 1 | 田中 佑汰 | (愛知) | 愛工大附属中学校 | 1 | 塩見 真希 | (大阪) | ミキハウスJSC |
| 2 | 宇田 幸矢 | (東京) | JOCエリートアカデミー | 2 | 鈴木 琴音 | (大阪) | ミキハウスJSC |
| 3 | 遠藤 碧人 | (神奈川) | TTC浦和 | 3 | 丸 怜央奈 | (京都) | 田阪卓研 |
| 4 | 川村 大貴 | (石川) | 遊学館ジュニア | 4 | 早田 ひな | (福岡) | 石田卓球クラブ |
| 5 | 近藤 蓮 | (大分) | 明豊中学校 | 5 | 宮崎 翔 | (大阪) | ミキハウスJSC |
| 6 | 松下 竜巳 | (山口) | 野田学園中学校 | 6 | 青木 千佳 | (福井) | ミナミラボ |
| 7 | 上村 太陽 | (大阪) | 大阪桐蔭ジュニア | 7 | 大川 千尋 | (徳島) | 富田中学校 |
| 8 | 田原 彰悟 | (東京) | 尾久八幡中学校 | 8 | 宮野 彩未 | (大阪) | ミキハウスJSC |
| 男子ダブルス | | | | 女子ダブルス | | | |
| 1 | 金光 宏暢 | (東京) | JOCエリートアカデミー | 1 | 宮崎 翔 | (大阪) | ミキハウスJSC |
| 1 | 宇田 幸矢 | (東京) | JOCエリートアカデミー | 1 | 宮野 彩未 | (大阪) | ミキハウスJSC |
| 2 | 中橋 敬人 | (神奈川) | 湘工ジュニア | 2 | 早田 ひな | (福岡) | 石田卓球クラブ |
| 2 | 遠藤 碧人 | (神奈川) | TTC浦和 | 2 | 池田 玲菜 | (福岡) | 石田卓球クラブ |
| 3 | 竹内 佑 | (青森) | 青森山田中学校 | 3 | 村田 咲紀 | (兵庫) | ALL STAR |
| 3 | 窪 龍司 | (青森) | 青森山田中学校 | 3 | 木原 美悠 | (兵庫) | ALL STAR |
| 4 | 加山 裕 | (東京) | JOCエリートアカデミー | 4 | 高田 愛佳 | (高知) | 明德義塾中学校 |
| 4 | 柏 竹琉 | (東京) | JOCエリートアカデミー | 4 | 里川 奈優 | (高知) | 明德義塾中学校 |
| 5 | 宮川 昌大 | (山口) | 野田学園中学校 | 5 | 中島 彩希 | (福井) | ミナミラボ |
| 5 | 橋田 訓平 | (山口) | 野田学園中学校 | 5 | 吉田 美央 | (福井) | ミナミラボ |
| 6 | 浅利 良維 | (宮城) | 蒲町中学校 | 6 | 野村 萌 | (愛知) | 卓伸クラブ |
| 6 | 張本 智和 | (宮城) | 仙台ジュニアクラブ | 6 | 大島 奈々 | (愛知) | 卓伸クラブ |
| 7 | 老松 陸斗 | (富山) | 出町中学校 | 7 | 山本 真由 | (京都) | YHGアスリートクラブ |
| 7 | 吉田 勝紀 | (富山) | 志貴野中学校 | 7 | 津田 菜穂 | (京都) | YHGアスリートクラブ |
| 8 | 田仲 翔真 | (京都) | YHGアスリートクラブ | 8 | 野方 遥伽 | (静岡) | 浜松修学舎中学校 |
| 8 | 田仲 緑斗 | (京都) | YHGアスリートクラブ | 8 | 岡野 弥咲樹 | (静岡) | 浜松修学舎中学校 |

平成 26 年度全日本卓球選手権大会（ホープスの部）ランキング

| ホープス男子 | | | | ホープス女子 | | | |
|--------|-------|------|-----------|--------|--------|-------|---------------|
| 1 | 張本 智和 | (宮城) | 仙台ジュニアクラブ | 1 | 長崎 美柚 | (神奈川) | 岸田クラブ |
| 2 | 松田 歩真 | (兵庫) | 華兵ロードスカイ | 2 | 高橋あかり | (東京) | マイダス |
| 3 | 小林 広夢 | (東京) | ワイワイ卓球 | 3 | 川北 帆香 | (埼玉) | Shochi Jr |
| 4 | 内田 柁平 | (東京) | 秋川クラブ | 4 | 横山 瞳 | (東京) | 秋川クラブ |
| 5 | 中川 泰雅 | (岡山) | T.Cマルカワ | 5 | 江上 明里 | (福岡) | Shochi Jr. 瀬高 |
| 6 | 手塚 峻馬 | (長野) | JUPIC | 6 | 菅澤 柚花里 | (神奈川) | 酒匂卓球キッズ |
| 7 | 曾根 翔 | (兵庫) | 卓栄Kids | 7 | 出澤 杏佳 | (茨城) | 日立大沼卓球 |
| 8 | 荒井 和也 | (福島) | 郡山第一卓球クラブ | 8 | 中森 帆南 | (兵庫) | 川西ギャラントム |

平成 27 年度全日本卓球選手権大会（ホープスの部）ランキング

| ホープス男子 | | | | ホープス女子 | | | |
|--------|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|
| 1 | () | () | () | 1 | () | () | () |
| 2 | () | () | () | 2 | () | () | () |
| 3 | () | () | () | 3 | () | () | () |
| 4 | () | () | () | 4 | () | () | () |
| 5 | () | () | () | 5 | () | () | () |
| 6 | () | () | () | 6 | () | () | () |
| 7 | () | () | () | 7 | () | () | () |
| 8 | () | () | () | 8 | () | () | () |

平成 27 年度 全国中学校卓球大会 ランキング

| 男子 | | | | 女子 | | | |
|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|
| 1 | () | () | () | 1 | () | () | () |
| 2 | () | () | () | 2 | () | () | () |
| 3 | () | () | () | 3 | () | () | () |
| 4 | () | () | () | 4 | () | () | () |
| 5 | () | () | () | 5 | () | () | () |
| 6 | () | () | () | 6 | () | () | () |
| 7 | () | () | () | 7 | () | () | () |
| 8 | () | () | () | 8 | () | () | () |

天皇杯・皇后杯 平成 27 年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）

- (1) 名 称 天皇杯・皇后杯 平成 27 年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
 (2) 期 日 平成 28 年 1 月 11 日（月・祝）～17 日（日） 7 日間
 (3) 会 場 東京体育館（JR 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅 下車徒歩 1 分）
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL: (03) 5474-2111
 (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主 管 東京都卓球連盟
 (6) 協 賛 シチズン時計株式会社、全国農業協同組合連合会 ほか
 (7) スポーツ振興助成 一般財団法人上月財団
 (8) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス ③男子ダブルス ④女子ダブルス
 ⑤混合ダブルス ⑥ジュニア男子シングルス ⑦ジュニア女子シングルス
 (9) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
 男・女シングルの第 1 ステージは 11 本 5 ゲームマッチ、第 2 ステージは 11 本 7 ゲームマッチ、他の
 種目はすべて 11 本 5 ゲームマッチで行なう。
 (10) 競技日程 後日主管団体より連絡する。
 (11) 参加人員 下記表のとおり

表－ (1)

| 加盟団体 | 男子 単 | 女子 単 | 男子 複 | 女子 複 | 混 合 複 |
|--|---------|---------|---------|---------|-------------|
| 東京（開催地）、愛知 | 10 | 10 | 5 | 5 | 5 |
| 北海道、福岡 | 8 | 8 | 4 | 4 | 4 |
| 神奈川、静岡 | 7 | 7 | 4 | 4 | 4 |
| 埼玉 | 6 | 6 | 3 | 3 | 3 |
| 千葉、京都、大阪、兵庫 | 5 | 5 | 3 | 3 | 3 |
| 新潟、長野、岡山、広島、長崎 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| 山形、福島、茨城、栃木、群馬、石川、山口、佐賀、熊本、大分、鹿児島 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| 青森、岩手、宮城、秋田、山梨、富山、福井、三重、岐阜、滋賀、奈良、和歌山、 鳥取、島根、香川、徳島、愛媛、高知、宮崎、沖縄 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 |

表－ (2)

| 加盟団体名 | ジュニア男子 | ジュニア女子 |
|--|--------|--------|
| 東京（開催地）、神奈川、静岡、愛知 | 8 | 8 |
| 北海道、千葉、兵庫 | 7 | 7 |
| 茨城、埼玉 | 6 | 6 |
| 福島、新潟 | 5 | 5 |
| 宮城、栃木、群馬、長野、岐阜、大阪、福岡 | 4 | 4 |
| 青森、岩手、山形、三重、京都、岡山、広島、山口、愛媛 | 3 | 3 |
| 秋田、山梨、富山、石川、福井、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、島根、香川 徳島、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄 | 2 | 2 |

表－ (3) ブロック推薦数（男・女シングルスまたはジュニア男・女いずれか 1 種目）

| | 北海道 | 東 北 | 関 東 | 北信越 | 東 海 | 近 畿 | 中 国 | 四 国 | 九 州 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男 子 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 |
| 女 子 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 |

- (12) 参加資格
- ①参加者は、平成27年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注1参照）に定められた有段者であること。
 - ②男・女シングルス、男・女ジュニア、男・女ダブルス、混合ダブルスに出場する選手は日本国籍を有する者とする。但し、男・女ジュニア、男・女ダブルス、混合ダブルスは下記の各号の1つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
 - (イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で引き続き3年以上日本に住所または居所を有する者。
 - (ロ) 日本で生まれたもので引き続き3年以上、日本に住所又は居所を有するもの。又はその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
 - (ハ) 引き続き10年以上日本に居所を有する者。
 - (二) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から3年を経過し、かつ引き続き1年以上日本に住所を有する者。
 - ③各都道府県代表は本会各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
 - ④日本学生卓球連盟にも登録している者は、大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の2ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ提出する。登録加盟団体は確認し捺印後申請者へ返却する。申請者は再度それを卒業高等学校所在地加盟団体長宛に提出をする。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、承認した場合はすみやかに申請加盟団体に申請用紙をFAXする事。選手が本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より（公財）日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙（コピー可）を提出すること。
 - ⑤ジュニアは、平成10年4月2日以降に生まれた者であること。（高校2年生以下）
 - ⑥本年度の全日本選手権大会（カデット以下の部）に出場した者でも都道府県の予選を通過すればジュニア及び一般の各種目に参加することができる。
 - ⑦同一人の同一種目について予選会出場は1ヶ所限りとする。

※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。
 - ⑧無条件参加選手の取扱い・・・下記表のとおり

| | 推薦母体 | 推薦対象大会等 | 種目および人数 |
|---|-------|-------------------------------|---|
| 1 | 日卓協 | 平成26年度全日本選手権大会 大会ランキング | 男女シングルス・男女ダブルス各ベスト16位まで、混合ダブルス8位まで ・・・それぞれの種目に ジュニア男女各8位まで 高校2年生以下・・・ジュニアと一般に 高校3年生は・・・一般に |
| 2 | | 平成26年度総合ランキング | 男女シングルスランキング各16位まで・・・男女各シングルスに |
| 3 | | *平成27年度全日本社会人選手権大会 大会ランキング | 男女シングルス各8位、男女ダブルス各4位まで ・・・それぞれの該当種目に |
| 4 | | 平成26年度全日本（カデット） ランキング | 14歳（中学2年）以下の部の男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに ※注：13歳（中学1年）以下の部のランキング保持者は、この大会のジュニアへの推薦はない。 |
| 5 | | 平成27年度全国中学校 | 男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに |
| 6 | 日本リーグ | *平成27年度日本リーグ | 男女シングルス各8名、男女ダブルス各4組 ・・・それぞれの該当種目に |
| 7 | 日学連 | *平成27年度全日本学生選手権 | 男女シングルスランキング各8位まで、男女ダブルスランキング各4位まで ・・・それぞれの該当種目に |
| 8 | 高体連 | *平成27年度全国高校選手権大会 | ①男女シングルスランキング各8位までの高校3年生は一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下はジュニアに（但し、各16名まで） ③男女ダブルスランキング各4位まで・・・男女ダブルスに |

1) 推薦出場の全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
 2) 全日本及び全日本社会人等でそれぞれ異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合、いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。
 3) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。または、強化本部の要請などにより（公財）日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。
 4) ブロック推薦選手には、申込書の備考欄に「ブロック推」と表示すること。

- (13) 競技ルール
- ①現行の日本卓球ルールによる。
 - ②組合せ全体を通して、所属チームに関する均等配分を優先する原則と、都道府県の均等配分の原則が適用される。但し、ランキング選手（一般シングルス種目の上位16シード、ダブルス種目の上位8シード、ジュニア種目の上位8シード）はフリー抽選とする。
 - ③一般男女シングルスおよびジュニア男女シングルスのランキング推薦選手はベスト32決定戦より、ダブルス（混合を除く）ランキング推薦ペアはベスト16決定戦よりスーパーシードとして出場する。但し、推薦選手（ペア）数がスーパーシード枠数を超える場合は、組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
 - ④一般男女シングルスでは、ベスト32決定戦からを第2ステージ扱いとする。
 - ⑤テーブルはブルーを使用する。
 - ⑥使用球は、J T T A公認プラスチック球；40mmホワイトのみを使用する。
 - ⑦ゼッケンは本会が大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
 - ⑧同じユニホームによる対戦を避けるためユニホームを2種類以上持参すること。
 - ⑨ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJ T T Aが公認した接着剤のみを使用すること。
 - ⑩全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。
※フロアマットを使用することがある。
- (14) 参加料
- | | | |
|-------|----|--------|
| シングルス | 1名 | 3,000円 |
| ダブルス | 1組 | 4,000円 |
- (15) 申込方法
- 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。
（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）
原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛
TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373
コピーを 〒160-0023 新宿区西新宿7-18-5 中央第7西新宿ビル402号室
東京都卓球連盟 宛
TEL: (03) 5389-2965、FAX: (03) 5389-2987
- ①推薦出場の選手も含め全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
 - ②卒業高等学校所在地から予選会を経て獲得したものについては、その都道府県から申込み、ランキング推薦で出場する選手は必ず現在登録している都道府県より申込みをする事。
 - ③ブロック推薦の選手申込みについては、重複、欠落がないよう十分に注意すること。
- (16) 申込締切
- 平成27年11月18日（火）必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (17) 宿 泊
- 東京都卓球連盟ホームページをご覧ください。
- (18) そ の 他
- ①一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は原則として認めない。又、組み合わせ抽選決定後は一切認めない。
 - ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会宛連絡すること。
棄権する場合は、理由を付して当該加盟団体長あて文書を持って届け出ること。そして、加盟団体長は、その旨をただちに本会あて通知すること。
 - ③開会式には原則として全員参加すること。
 - ④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 - ⑤病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等の場合には、可能な応急承知はしますが、各自の責任に帰することとします。
 - ⑥個人情報取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。
- ⑦本競技大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。また、未成年である本競技会（一般の部）参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者の同意書を提出する必要がある。同意書の提出なく本競技会に参加することは出来ない。
本競技会 参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規程違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合は、日本ドーピング防止規則に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

① 平成26年度 全日本選手権大会ランキング (申込は都道府県卓から)

| 男子シングルス | | | | 女子シングルス | | | |
|---------|-------------------------|-------|------------------------|---------|------------------------------|-------|--------------|
| 1 | 水谷 隼 | (東京) | beacon. LAB | 1 | 石川 佳純 | (山口) | 全農 |
| 2 | 神 巧也 | (東京) | 明治大学 | 2 | 森蘭 美咲 | (茨城) | 日立化成 |
| 3 | 丹羽 孝希 | (東京) | 明治大学 | 3 | 前田 美優 | (福岡) | 希望が丘高校 |
| 4 | 岸川 聖也 | (千葉) | ファースト | 4 | 石垣 優香 | (大阪) | 日本生命 |
| 5 | 松平 健太 | (東京) | JTB | 5 | 松平 志穂 | (大阪) | ミキハウス |
| 6 | 吉村 真晴 | (愛知) | 愛知工業大学 | 6 | 佐藤 瞳 | (北海道) | 札幌大谷高校 |
| 7 | 吉田 海偉 | (埼玉) | Global Athlete Project | 7 | 平野 美宇 | (東京) | JOCエリートアカデミー |
| 8 | 吉田 雅己 | (愛知) | 愛知工業大学 | 8 | 伊藤 美誠 | (大阪) | スターツSC |
| 9 | 大島 祐哉 | (東京) | 早稲田大学 | 9 | 松澤 茉里奈 | (茨城) | 日立化成 |
| 10 | 松平 賢二 | (東京) | 協和発酵キリン | 10 | 田代 早紀 | (大阪) | 日本生命 |
| 11 | 上田 仁 | (東京) | 協和発酵キリン | 11 | 山本 怜 | (東京) | 中央大学 |
| 12 | 藤本 海統 | (和歌山) | 日鉄住金物流 | 12 | 加藤 美優 | (東京) | JOCエリートアカデミー |
| 13 | 塩野 真人 | (東京) | 東京アート | 13 | 松本 優希 | (大阪) | ミキハウス |
| 14 | 軽部 隆介 | (東京) | シチズン | 14 | 酒井 春香 | (大阪) | ミキハウス |
| 15 | 森蘭 政崇 | (東京) | 明治大学 | 15 | 若宮 三紗子 | (大阪) | 日本生命 |
| 16 | 森本 耕平 | (東京) | 協和発酵キリン | 16 | 牛嶋 星羅 | (埼玉) | 正智深谷高校 |
| 男子ダブルス | | | | 女子ダブルス | | | |
| 1 | { 森蘭 政崇 (東京) 明治大学 | | | 1 | { 平野 早矢香 (大阪) ミキハウス | | |
| | { 三部 航平 (青森) 青森山田高校 | | | | { 石川 佳純 (山口) 全農 | | |
| 2 | { 岸川 聖也 (千葉) ファースト | | | 2 | { 阿部 愛莉 (大阪) 四天王寺高校 | | |
| | { 水谷 隼 (東京) beacon. LAB | | | | { 森蘭 美月 (大阪) 四天王寺高校 | | |
| 3 | { 吉村 和弘 (山口) 野田学園高校 | | | 3 | { 中村 薫子 (茨城) 日立化成 | | |
| | { 平野 晃生 (山口) 野田学園高校 | | | | { 市川 梓 (茨城) 日立化成 | | |
| 4 | { 張 一博 (東京) 東京アート | | | 4 | { 田代 早紀 (大阪) 日本生命 | | |
| | { 高木 和卓 (東京) 東京アート | | | | { 藤井 優子 (大阪) 日本生命 | | |
| 5 | { 加藤 由行 (愛知) 愛知工業大学 | | | 5 | { 土井 みなみ (広島) 中国電力 | | |
| | { 吉田 雅己 (愛知) 愛知工業大学 | | | | { 宋 恵佳 (広島) 中国電力 | | |
| 6 | { 森田 侑樹 (東京) シチズン | | | 6 | { 土田 美紀 (広島) 中国電力 | | |
| | { 軽部 隆介 (東京) シチズン | | | | { 三宅 菜津美 (広島) 中国電力 | | |
| 7 | { 吉村 真晴 (愛知) 愛知工業大学 | | | 7 | { 石川 梨良 (東京) JOCエリートアカデミー/帝京 | | |
| | { 藤村 友也 (愛知) 愛知工業大学 | | | | { 加藤 美優 (東京) JOCエリートアカデミー | | |
| 8 | { 松平 賢二 (東京) 協和発酵キリン | | | 8 | { 中川 博子 (広島) 中国電力 | | |
| | { 上田 仁 (東京) 協和発酵キリン | | | | { 土田 美佳 (広島) 中国電力 | | |
| | { 御内 健太郎 (東京) シチズン | | | | { 平野 美宇 (東京) JOCエリートアカデミー | | |
| | { 加藤 悠二 (東京) シチズン | | | | { 伊藤 美誠 (大阪) スターツSC | | |
| | { 大野 泰士 (東京) 中央大学 | | | | { 梅村 優香 (大阪) ミキハウスJSC | | |
| | { 大坂 亮輔 (東京) 中央大学 | | | | { 塩見 真希 (大阪) ミキハウスJSC | | |
| ベ | { 吉田 和也 (東京) 日本大学 | | | ス | { 橋本 帆乃香 (大阪) 四天王寺高校 | | |
| ス | { 生田 裕仁 (東京) 法政大学 | | | | { 塩見 紗希 (大阪) 四天王寺高校 | | |
| | { 池田 忠功 (青森) 青森大学 | | | ト | { 原 ちひろ (静岡) アスモ (株) | | |
| | { 坪井 勇磨 (青森) 青森山田高校 | | | | { 松村 夏海 (静岡) アスモ (株) | | |
| 16 | { 大島 祐哉 (東京) 早稲田大学 | | | 16 | { 堀 優美 (熊本) 専修大学 | | |
| | { 上村 慶哉 (東京) 早稲田大学 | | | | { 安藤 みなみ (熊本) 慶誠高校 | | |
| | { 滝澤 拓真 (東京) 明治大学 | | | | { 池田 好美 (茨城) 日立化成 | | |
| | { 坪金 衛 (東京) 明治大学 | | | | { 平野 容子 (東京) 東京富士大学 | | |
| | { 平野 友樹 (東京) 明治大学 | | | | { 根本 理世 (岐阜) 十六銀行 | | |
| | { 有延 大夢 (東京) 明治大学 | | | | { 大森 玲奈 (岐阜) 十六銀行 | | |
| | { 安藤 康寛 (岐阜) 岐阜信用金庫 | | | | { 河村 茉依 (静岡) アスモ (株) | | |
| | { 時吉 佑一 (東京) ZEOS | | | | { 森永 愛里 (静岡) アスモ (株) | | |
| 混合ダブルス | | | | ジュニア男子 | | | |
| 1 | { 吉村 真晴 (愛知) 愛知工業大学 | | | 1 | 及川 瑞基 (青森) 青森山田高校 | | |
| | { 石川 佳純 (山口) 全農 | | | 2 | 三部 航平 (青森) 青森山田高校 | | |
| 2 | { 松平 賢二 (東京) 協和発酵キリン | | | 3 | 伊丹 雄飛 (山口) 野田学園高校 | | |
| | { 若宮 三紗子 (大阪) 日本生命 | | | 4 | 青山 昇太 (山口) 野田学園高校 | | |
| 3 | { 田添 健汰 (福岡) 専修大学 | | | 5 | 廣田 雅志 (愛知) 愛工大名電高校 | | |
| | { 前田 美優 (福岡) 希望が丘高校 | | | 6 | 緒方 遼太郎 (東京) JOCエリートアカデミー/帝京 | | |
| 4 | { 時吉 佑一 (東京) ZEOS | | | 7 | 坂根 翔大 (兵庫) 育英高校 | | |
| | { 山梨 有理 (東京) ミズノ | | | 8 | 張本 智和 (宮城) 仙台ジュニアクラブ | | |
| 5 | { 山本 勝也 (東京) 早稲田大学 | | | ジュニア女子 | | | |
| | { 小道野 結 (東京) 早稲田大学 | | | 1 | 伊藤 美誠 (大阪) スターツSC | | |
| 6 | { 及川 瑞基 (青森) 青森山田高校 | | | 2 | 早田 ひな (福岡) 石田卓球クラブ | | |
| | { 宋 恵佳 (広島) 中国電力 | | | 3 | 平野 美宇 (東京) JOCエリートアカデミー | | |
| 7 | { 御内 健太郎 (東京) シチズン | | | 4 | 木村 香純 (大阪) ミキハウスJSC | | |
| | { 北岡 エリ子 (茨城) 日立化成 | | | 5 | 浜本 由惟 (東京) JOCエリートアカデミー/大原学園 | | |
| 8 | { 英田 理志 (岐阜) 朝日大学 | | | 6 | 橋本 帆乃香 (大阪) 四天王寺高校 | | |
| | { 根本 理世 (岐阜) 十六銀行 | | | 7 | 芝田 沙季 (大阪) 四天王寺高校 | | |
| | | | | 8 | 三條 裕紀 (大阪) 四天王寺高校 | | |

② 平成 26 年度 全日本卓球総合ランキング

| 男子シングルス | | 女子シングルス | |
|---------|-----|---------|-----|
| 1 | () | 1 | () |
| 2 | () | 2 | () |
| 3 | () | 3 | () |
| 4 | () | 4 | () |
| 5 | () | 5 | () |
| 6 | () | 6 | () |
| 7 | () | 7 | () |
| 8 | () | 8 | () |
| 9 | () | 9 | () |
| ~ | | ~ | |
| 16 | () | 16 | () |

③ 平成 27 年度 第 49 回全日本社会人卓球選手権大会ベスト 8 (男女ダブルスベスト 4) (申込は都道府県卓卓から)

| 男子シングルス | | 女子シングルス | |
|---------|-----|---------|-----|
| 1 | () | 1 | () |
| ~ | | ~ | |
| 8 | () | 8 | () |
| 男子ダブルス | | 女子ダブルス | |
| 1 { | () | 1 { | () |
| () | | () | |
| 2 { | () | 2 { | () |
| () | | () | |
| 3 { | () | 3 { | () |
| () | | () | |
| 4 { | () | 4 { | () |
| () | | () | |

④ 平成 26 年度 全日本 (カデット 14 歳以下の部) ランキングよりジュニアへの推薦 (申込みは都道府県卓卓から)

| 14歳以下男子シングルス | | 14歳以下女子シングルス | |
|------------------------------|--|--------------------------|--|
| 1 田中 佑汰 (愛知) 愛工大附属中学校 | | 1 塩見 真希 (大阪) ミキハウス J S C | |
| 2 宇田 幸矢 (東京) J O C エリートアカデミー | | 2 鈴木 琴音 (大阪) ミキハウス J S C | |
| 3 遠藤 碧人 (神奈川) T T C 浦和 | | 3 丸 怜央奈 (京都) 田阪卓研 | |
| 4 川村 大貴 (石川) 遊学館ジュニア | | 4 早田 ひな (福岡) 石田卓球クラブ | |
| 5 近藤 蓮 (大分) 明豊中学校 | | 5 宮崎 翔 (大阪) ミキハウス J S C | |
| 6 松下 竜巳 (山口) 野田学園中学校 | | 6 青木 千佳 (福井) ミナミラボ | |
| 7 上村 太陽 (大阪) 大阪桐蔭ジュニア | | 7 大川 千尋 (徳島) 富田中学校 | |
| 8 田原 彰悟 (東京) 尾久八幡中学校 | | 8 宮野 彩未 (大阪) ミキハウス J S C | |

⑤ 平成 27 年度 第 46 回全国中学校卓球大会 ランキング (申し込みは都道府県卓卓から)

| 男子 | | 女子 | |
|----|-----|----|-----|
| 1 | () | 1 | () |
| ~ | | ~ | |
| 8 | () | 8 | () |

⑥ 平成 27 年度 日本リーグ実業団連盟からの推薦 (申し込みは都道府県卓卓から)

| 男子シングルス | | 女子シングルス | |
|---------|-----|---------|-----|
| 1 | () | 1 | () |
| ~ | | ~ | |
| 8 | () | 8 | () |
| 男子ダブルス | | 女子ダブルス | |
| 1 { | () | 1 { | () |
| () | | () | |
| 2 { | () | 2 { | () |
| () | | () | |
| 3 { | () | 3 { | () |
| () | | () | |
| 4 { | () | 4 { | () |
| () | | () | |

⑦ 平成 27 年度 第 82 回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）よりの推薦（申し込みは都道府県から）

| 男子シングルス | | 女子シングルス | |
|---------|------------|---------|------------|
| 1 | () | 1 | () |
| ~ | | ~ | |
| 8 | () | 8 | () |
| 男子ダブルス | | 女子ダブルス | |
| 1 { | () () | 1 { | () () |
| 2 { | () () | 2 { | () () |
| 3 { | () () | 3 { | () () |
| 4 { | () () | 4 { | () () |

⑧平成 27 年度 第 83 回全国高等学校選手権大会よりの推薦（申込みは都道府県卓から）

(注) J：ジュニアに推薦

★：一般・ジュニア共推薦対象にならない選手

| 男子シングルス | | 女子シングルス | |
|---|------------|---|------------|
| 1 | () | 1 | () |
| 2 | () | 2 | () |
| 3 | () | 3 | () |
| 4 | () | 4 | () |
| 5 | () | 5 | () |
| 6 | () | 6 | () |
| 7 | () | 7 | () |
| 8 | () | 8 | () |
| ~ | | ~ | |
| 16 | () | 16 | () |
| ベスト32 (2年生以下) (上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで) | | ベスト32 (2年生以下) (上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで) | |
| Jベ | () | Jベ | () |
| Jス | | Jス | |
| Jト | | Jト | |
| J32 | | J32 | |
| J | () | J | () |
| 男子ダブルス | | 女子ダブルス | |
| 1 { | () () | 1 { | () () |
| 2 { | () () | 2 { | () () |
| 3 { | () () | 3 { | () () |
| 4 { | () () | 4 { | () () |

注 1) 段級制規程要約

段位取得について（平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段級制）規程改正に基づく）

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部）
③全日本選手権大会（一般・ジュニア） ④全日本選手権大会（団体の部） ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約（平成元年以降）

- (ア) 初出場者・・・・・・・・・・・・・・・・・・初段
(イ) 同一大会 3 回目出場者・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 段
(ウ) 同一大会 5 回目出場者・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 段
(エ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 16 入り経験者・・・・ 4 段
(オ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 4 入賞経験者・・・・ 5 段
(カ) 上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者・・・・・・・・・・ 6 段

※段位の申請につきましては、その年度に登録されている都道府県協会（連盟）を通じてお申込みいただきますようお願いいたします。

第13回全国ホープス選抜卓球大会

- (1) 名称 第13回全国ホープス選抜卓球大会
- (2) 期日 平成28年3月24日(木)～26日(土)
- (3) 会場 奈良市中央体育館
近畿「奈良」駅より 徒歩15分
近鉄・JR「奈良」駅よりバス「加茂駅行・高の原駅行」⇒「鴻ノ池」下車すぐ
〒630-8108 奈良県奈良市法蓮佐保山4-1-3 TEL:0742-24-1501
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主管 奈良県卓球協会、奈良市卓球協会
- (6) 後援 奈良県、奈良県教育委員会、(公財)奈良県体育協会、奈良市、奈良市教育委員会、奈良市体育協会、奈良テレビ放送(株)、(一財)奈良ビジターズビューロー
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 (イ) チームは都道府県単位とし、選手5名、監督(引率者)1名、コーチ1名で編成する。
但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。
(ロ) 5シングルス
1番 2番 3番 4番 5番
3年生以下 6年生以下 5年生以下 4年生以下 6年生以下
(ハ) 第1ステージ・第2ステージ方式で行う。台は2台進行で行う。
① 第1ステージは、1グループ3チーム計16グループを編成し総当たり戦を行う。
また、勝敗に関係なく全試合(5番まで)行うものとする。(例:A対Bの試合で3-0の後、Bが2点とった場合3-2と記録される。)なお、その記録結果はリーグ内で試合得点と同じ場合にすべて比率計算対象となる。
② 第2ステージは、各グループ1位による決勝トーナメントにより優勝を決定する。
また、各グループ2位による2位トーナメント、各グループ3位による3位トーナメントを行う。なお、第2ステージは3点先取で行い、3位決定戦は行わない。
- (9) 競技日程 平成28年3月24日(木) 監督会議 14:30～15:30
開会式 16:00～17:00
25日(金) 第1ステージ(リーグ戦) 9:00～
第2ステージ(2、3位トーナメント 1回戦)
26日(土) 第2ステージ(1位、2位、3位トーナメント)
閉会式 15:00～
- (10) 競技ルール ① 現行の日本卓球ルールによる。
② 選手は、平成27年度(公財)日本卓球協会指定のゼッケンを使用すること。
③ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJT TAが公認した接着剤のみを使用すること。
④ 粒高・アンチラバーの使用制限はしない。
- (11) 参加資格 ① 選手・監督・コーチは、平成27年度(公財)日本卓球協会に登録されたものであること。選手は選手登録、監督・コーチは役員登録を出場する都道府県において登録をしていること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
② 全国各都道府県の平成15年4月2日以降に生まれたもので編成する男女各1チーム。但し、申込単位は学校・クラブの混成も可とする。また、主管都道府県は男女各2チーム参加できる。なお、参加チーム数が48チームに満たない場合の補充は本会が別途考慮する。
③ 低学年の選手の高学年のカテゴリーへのエントリーは認める。ただし、その逆については認めない。監督、コーチ、選手の変更、追加は、監督会議の時に変更届を提出すればそれを認める。それ以降の変更については認めない。
④ 代表選手の選抜方法は、各都道府県に一任する。

- (12) 参加料 1 チーム 10,000 円
- (13) 表彰 ①第1ステージ各ブロックの1位チームを表彰する。
②決勝トーナメント1~3位(ベスト4)まで表彰する。
- (14) 使用球 使用球は、J T T A公認プラスチック球; 40 mmホワイトのみとする。
- (15) 申込方法 各都道府県卓球協会(連盟)は、別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便または振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先: みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 公益財団法人日本卓球協会)
(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。)
原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373
コピーを 〒631-0827 奈良県奈良市西大寺小坊町1番6号 西大寺ビル3階
奈良県卓球協会 宛
TEL/FAX: (0742) 31-4092
- (16) 申込締切 平成28年2月8日(月)必着のこと。
- (17) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (18) その他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
②病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
③大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
④個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。